

善隣

No.496 通巻763

2018年（平成30年）10月1日発行（毎月1日発行）

2018
10





内蒙古自治区科学技術庁訪日団を迎えて（8月28日～9月1日）



〈交流会：会館にて〉

善隣 目 次

2018年10月号

公開講演会記録

- 「一带一路構想」と習近平のアジア戦略 范云涛 2

- アメリカ・地球、住んで旅して騙されて
——異文化理解と多文化共生 小川律昭・小川彩子 12

旅行記

- 続台湾紀行「弔魂碑」 阿部靖夫 20

見て来ました

- 瀋陽・長春の大学病院・医療事情 村田嘉明 23

会員彼是

- 五合庵 佐藤善二 26

中国ウォッチング 編・訳 上松玲子 28**コラム** 〈腰折れ文〉十四、 渡邊澄子 30**陶々俳壇** 馬場由紀子選／岡 和良（和水） 31

協会通信・会員だより・同好会だより 32

2018年10月の行事予定 33

善隣 第496号 通巻763号

2018(平成30)年10月1日発行

発行所 〒105-0004 東京都港区新橋1-5-5

一般社団法人 国際善隣協会

TEL 03(3573)3051

FAX 03(3573)1783

発行人 矢野一彌

印刷所 (有)ゆにおんプレス

定価 一部400円 年額4,800円

振替 00120-0-145956

国際標準逐次刊行物 ISSN 0386-0345

©禁無断転載

みんなの写真館 32

「一帯一路構想」と 習近平のアジア戦略

■細亞大学アジア・国際経営戦略研究科教授 范云涛

はじめに

中国が「一帯一路」(ONE BELT & ONE ROAD)構想を打ち出してから今日に至るまで、すでに5か年の歳月を迎えようとしている。かかる巨大な経済圏構想を一か国で世界に発信し、提唱されることは、いままでは皆無と言つてもよい。はたしてその実態は、いったいどのようになつてゐるのか？内実を伴つた具体性、経済合理性が認められるものなのか？日本国内に留まつていては、その全体像をつかめることは決して容易なことではない。

2017年5月14日～15日にかけて、北京にて開催された「一帯一路国際経済協力フォーラム」には、自民党幹事長二

階俊博氏が率いる政界、財界人リーダーからなる訪中団ミッションが急速飛び入り参加を果たし、日中両国間で大きな話題になつたのである。中国主導で進む新興国インフラ整備建設プロジェクトに距

離をおいてきた政府・与党ではあつたが、北朝鮮をめぐる情勢をにらみつつ、中国との経済協力関係を進めようとの党派外交の思惑も見え隠れする。この「一帯一路」フォーラムには、習近平国家主席が出席し、29か国の政府首脳が列席している。130か国の政府関係者、70以上の国際組織と合わせて総勢1300人の来賓ゲストが出席していた。

本日は、「一帯一路」地域経済統合構想の全体像を概観し、5か年間における主たる出来事や進捗動向を追つてその実

態を明らかにし、日中経済関係を含めて、今後のシナリオについても分析してみようと考える。

現在進行形の「一帯一路」マクロ構想



まず、現在までに中国と「一帯一路」沿線国首脳同士の相互訪問が45回行われ、88か国地域および国連をはじめとする国際機関、組織との間に、103件の相互協力協定が結ばれ、15件のバイラル政府間協定の締結調印がなされた。2017年5月14日～15日一帯一路国際経済協力サミットフォーラム開催中に279以上の経済協力、貿易分野の文書が調印された。255件が着手、起動。30か国以上の国との間に産業協力プロジェ

クトを組んでおり、24か国で75を超えるオフィショア貿易取引SPZ立ち上げ、累積FDI500億ドルに、累積貨物貿易取引高が5兆ドルに及んでいる。交通インフラ整備公共事業分野での国際提携プロジェクトの実施においては、新たな展開を見せており、「一带一路」はまさしく現在進行中の経済統合プラットフォームと言えよう。例えば、山東省濟南市から今年5月に新規開通された「中欧国際貨物列車」運行ルートが始まり、ウズベキスタン首都に至る1万キロを超える時速300キロ前後の高速鉄道が導入された。

沿線国・地域65か国に対するインフラ整備のための経済協力メカニズムが、次々と構築されている。例えば、中国は、カザフスタンやマレーシアなど30か国と生産能力の面で協力することを合意し、それを協力メカニズム、関係国とのリンク計画、プロジェクトに盛り込んでいる。重要なプロジェクトも次々に実施が始まっている。例えば、2016年末の時点では、中国企業が沿線国で立ち上げた連携エリアが56あり、1000社以上がそこに進出。総生産額は500億ドル以上に達し、現地国でおさめられた税金は11億ドル、現地で計18万人以上の雇用を創出してきた。中国企業は、沿線国がイ

ンフラを整備し、生産能力を向上させ、産業発展を加速させ、雇用創出を拡大させ、民生福祉を改善する点で、大きく寄与してきた。

【貿易取引分野】

2015年における中国と「一带一路」沿線国・地域とのバイラテラル方式での輸出入貿易取引額は、すでに2360億ドルに達している。それは、中国全體の年間対外輸出入取引実績総額の26%に匹敵するものとなっており、その伸び率が、中国全体の対外貿易取引伸び率よりも高い水準で推移していることが、判明している。沿線国や地域からの輸入取引金額も、915億ドルを記録しており、全国の輸入取引総額の23・4%にも及んでいることが、「一带一路」公式サイトの「基礎的実績データ」コラムに示されている。

2017年第1から第3四半期において、沿線国・地域向けの輸出・輸入取引の伸び率が20・1%。特にロシア、インド、マレーシアなどの国向け貿易輸出実績が早いスピードで急成長。第1～3四半期沿線国家による対中投資事業の新規設立企業数が2893社、前年同期と比べて34・4%の伸びが実現され、実際の投入金額が42・4億ドルを数えた。

中国は、すでに58か国と投資貿易相互協定を結んでいる。「ワンストップ」窓口受付による行政手続き簡素化率が59%に達している。

【インフラ建設と産業基盤の整備分野】

中国は、広大なユーラシア大陸におい

の赤字が逆転した。

貿易面の成果を見てみれば、2016年の中

年の中国と沿線国の間の貿易総額は、約9535億9000万ドル、中国の輸出

総額の25・7%を占め、2015年と比べ、0・4%ポイント上昇を見せた。貿

易相手国を見ると、東南アジアは、最大の貿易相手国となっている。中でも中国とベトナムとの貿易額は沿線国との貿易総額の10・3%を占めている。広東省は中国と沿線国との間の貿易を扱う最大の省であり、全国の20・9%を占めた。

中国税関総署の統計によれば、2018年1月から4月末までの中国貨物貿易輸出入実績ベースでは、9・11兆人民元、2017年貨物貿易輸出入総額が2780兆元、2016年比では14・2%増、そのうち輸出が15・33兆元、10・8%増、輸入12・47兆元で、18・7%増、輸出超過2・85兆元。これまでの2年連続

て、高速鉄道網をはじめ、ハイウェイ網、空港施設、天然ガス、石油パイプラインの整備など、新興諸国の産業基盤構築と繋がるような公共インフラ建設プロジェクトを着実に実施しており、その一例として、2017年11月17日現在、スペインのマドリード、ドイツのロイズ、オランダのアムステルダムに至る「ユーラシア鉄道高速列車」の発車運行数がすでに定期便でも2011年から、累計7000回を数えることになる。2017年だけを見ても、2300回の運行数を記録しており、これは、2011年から2016年6月までの合計を上回っている。

現在、「ユーラシア国際貨物列車の定期便」運行は、沿線各國政府と周辺地域の住民や自治体から好評を受けており、すでにヨーロッパ諸国と中国の各主要都市との間に、1万キロ以上にわたる57本の定期便貨物国際列車の路線が引かれている。中国国内の36か所の国際物流センター都市と欧州の14か国42都市との間に高速鉄道網が結ばれていることになる。

いにしえのシルクロード貿易経路が、いまや中国と欧州諸国、ないしユーラシア大陸沿線国との大動脈に成り代わっているのである。毎年、新規に開通される国際貨物列車の便数が352%という年伸びる

び率を達成できていること、2017年4月、中国国有鉄道会社のイニシアチブに基づき、中国、ロシア、ドイツ、カザフスタン、モンゴル、ポーランド、白ロシア、7か国の鉄道部門が、ユーラシア国際貨物列車協力条約を締結している。かかる国際協力協定書の締結が、一带一路国際フォーラムの成果リストに挙げられている。

2016年中国企業が、「一带一路」

沿線国家との間に締結したインフラ建設工事プロジェクトにかかる国際経済契約締結件数は、2015年同期に比べて、4171件もの増加を示している。同期との比較では、104・5%の伸びとなっている。新たに調印できた契約金額が、333・9億ドルにのぼっている。これは、前年同期と比べて何と36%増を示しているのである。

2017年1月から7月まで、中国企業と61か国の沿線国との間に新たに建設工事請負契約を締結した件数は、2946件を数え、契約出来高金額は、780・9億ドルであり、前年同期に比べて、32・6%増を記録している。2016年末までには、53か国（沿線国）との間に

を交わしている。査証手続きの簡略化やサービスマークの標準化をめぐる提携協議書などといった国際協力スキームも有効にできあがっているのである。

さらには、以下のような中国と沿線国との政策協調の成果も達成されている。

(A) バイラテラル、あるいはマルチラテラルに基づく経済協力体制が次第に整いつつある。

例えば、国連機構、国連安保理、国連総会など重要な国際会議の決議文書にも、「一带一路」インフラ建設の内容が組み入れられている。ロシア、カザフスタン、モンゴル、ベトナム、パキスタン、ポーランド、イギリスなど関係諸国とは、政策協調を行っている。40か国以上の国と地域、国際組織との間に協力をめぐる協定を結んでいる。30か国以上の国々との間に生産能力調整協力合意を取り付けている。60か国以上の国と国際組織との間に共同提唱に基づき「一带一路」貿易取引提携協議を結んでいる。

(B) 2016年末現在の、中国企業による沿線国への直接投資額は145・3億ドルを数えている。新規の道路港湾公共施設インフラの建設プロジェクト案件受注契約金額が1260・3億ドルにのぼっている。これは、中国の対外建設

ロジェクト案件受注新規契約金額の51・6%を占めている。すでに営業売上高が759・7億ドル、これは同期の全体営業売上高の47・7%を占めている。2016年末にかけて、中国企業は、「一带一路」沿線国家において戦略的経済特区を合併形式で立ち上げたのは、56か所もあり、累積投資額は185・5億ドルを数え、特区のテナント企業は、1082社となっている。その産出GDPは、506・9億ドルとなっている。前掲のとおり、11億ドルの法人税、事業税収をもたらし、18万人の就労機会を生み出している。

(C) 貿易取引と金融サービスの利便性、効率性の著しい改善が見られた。4年間にわたり、「一带一路」沿線国との間の貿易総額は、3兆ドルを超えている。A I I Bおよびシルクロード基金を基軸とする金融ファイナンスネットワークは、多次元からなるファイナンスツールを形成している。例えば、A I I B銀行だけでも、「一带一路」建設プロジェクトに関する関係諸国の抱える9つの公共事業プロジェクト案件に対して、17億ドルの貸し付けを与えている。「シルクロード基金」から拠出した投資マネーは、40億ドルに及んでいる。中国と中央アジア、東

ヨーロッパとの間に16プラス1という金融傘型会社も正式に立ち上げられている。「一带一路」沿線国地域をカバーする建設資金ファイナンスネットワークがほぼ形成されている。中国の企業証券取引所は、競争入札にてパキスタンの証券取引所持分を取得できている。

【金融ファイナンス分野】

A I I B正式加盟メンバーシップは、2015年12月発足時の57か国から87か国に拡大されており、うち42か国が沿線国。すでに24件の投資プロジェクトが承認されており、総額43億ドルにのぼっている。シルクロード基金…成約プロジェクト数17件、拠出金額70億ドルを数える。その融資対象プロジェクトが関係する総投資が800億ドルに。

B R I C S B A N K新設

2014年7月15日設立、2015年7月23日上海浦東新区エキスポで開業、17年9月2日上海にて本部ビルを着工、2021年春正式竣工予定。設立時は、500億ドルの資本金でスタート、将来は1000億ドルに増資、各國が100

億ドルずつ拠出することで、資本金割合変更は、全会一致というコンセンサス方

中国政府系銀行

19の沿線国において、6社の中国系銀

式が採用され、他者の参入は、B R I C S 5か国出資比率が55%を下回らないのが原則となっている。2017年7月23日、新興諸国5か国（B R I C S … ブラジル、ロシア、インド、中国、南アフリカ）が運営する新開発銀行（B R I C S 銀行）の開業式典が7月21日に上海で行われた。中国財政部の楼繼偉部長は、「B R I C S 銀行は、今年末、または来年はじめに運営をスタートする」と述べた。「B R I C S 5か国が提唱して設立するB R I C S 銀行も、中国が提起して設立されるアジアインフラ投資銀行（A I I B）も、新興经济体がグローバルインフラ建設を促進し、国際経済のガバナンス改革を推進する上で重要な動きだ。B R I C S 銀行とA I I Bは、相互に補完しあい、協力しあう関係にあり、両者は、銀行の設立準備の中で、お互いに学び合い、連携を取り合い、運営開始後は、協力を強化し、世界とアジアのインフラ建設および相互連携・相互接続（互聯互通）をともに促進し、世界と地域の共通の発展を推進するため貢献する」と述べた。

行が80か所の支店、営業所、PE代表処を設置しており、中国銀聯カード端末決済システムが沿線50か国以上をカバー、400万軒を超える店舗と40万台のATMが稼動中となっている。特に国家開発銀行（BCD）による特別融資枠、海外ファンド与信が拡大傾向。

新開発銀行（NDB）の主役たる5か国は、既存グローバルガバナンス枠組みに対する補完と代替機能を果たし、経済協力と政治的相互信頼を強化、「運命共同体」協働発展メカニズムを構築する。

5か国は、SOUTH-SOUTH COOPERATION、南北対話のメンバーとなり、G20新興市場国家を代表し、国際通貨秩序や気候温暖化対応、難民対策など多くの国際共通のアジェンダに対処する。

IMFレポートによれば、2005～2017年過去13年間ではBRICSのGDP総額の世界のそれに占める増加率は44%にのぼっている。世界経済に対する成長貢献率が50%を上回っている

という。

イギリスのEU離脱から、米国のボピュリズム、アメリカンファースト、保護貿易主義の台頭が目立つなか、BRICS5か国は欧米主導の融資制度とドル

通貨の影響力に対抗する意義があり、BRICS間の輸出信用機関の協力合意やイノベーションにおける技術協力や、エネルギー開発協力、農業生産協力、インフラ整備事業をめぐる協力に関する7つの分野の共同文書が調印済み。

西側諸国誘致分野に関しては、2017年3月27日、ニュージーランドは、西側諸国のうち、はじめて中国との『2か国間「一带一路」構想枠組み協力覚書』を締結し、8月14日ニュージーランド初の「一带一路」産業パークと中国税関商品検査認証集団公司ニュージーランド法人との間に戦略的パートナーシップ協定を結んだ。産業パークから輸出する乳製品をはじめ、肉類、果物、海産物などの商品に関する水際検査、検品、認証、テスト倉庫物流サービス、EC越境取引、製品の見本展示販売、電子マネー決済など総合的な貿易サービスが取り決められている。産業パークの第1期投資総額目標は1億ドル。

2018年4月8日、オーストリア大統領および首相、主要閣僚十数名が揃つて訪中、習近平主席をはじめ、執行部との会談を通じて、中奥『友好戦略パートナーシップ関係樹立に関する覚書』をはじめ締結した。

西側諸国誘致分野に関しては、2017年3月27日、ニュージーランドは、西側諸国のうち、はじめて中国との『2か国間「一带一路」構想枠組み協力覚書』を締結し、8月14日ニュージーランド初の「一带一路」産業パークと中国税関商品検査認証集団公司ニュージーランド法人との間に戦略的パートナーシップ協定を結んだ。産業パークから輸出する乳製品をはじめ、肉類、果物、海産物などの商品に関する水際検査、検品、認証、テスト倉庫物流サービス、EC越境取引、製品の見本展示販売、電子マネー決済など総合的な貿易サービスが取り決められている。産業パークの第1期投資総額目標は1億ドル。

2018年4月8日、オーストリア大統領および首相、主要閣僚十数名が揃つて訪中、習近平主席をはじめ、執行部との会談を通じて、中奥『友好戦略パートナーシップ関係樹立に関する覚書』をはじめ締結した。

オーストリアとの間には、16プラス1というEU諸国との仲間造りが可能となり、政府間協議を経て、情報通信産業をはじめ、クリーンエネルギー分野、デジタル通信システム、バイオ医薬、生態農業技術、環境ビジネス、教育、文化、インフラ整備、物流ロジстиクス、建築土木、半導体装備、化学コンビナート、生命科学など幅広い分野での「一带一路」枠組みにおけるグローバルな事業連携が宣言されている。

ニュージーランドは中国との間で、西側諸国とのうち、今年3月27日付け、最初に2か国間「一带一路」戦略合意を結んだ国である。具体的には、国際貿易物流業務の実務協力協定を締結し、エアポート物流エリアと海岸埠頭港ロジスティクス園区エリアの2か所に分けられる。空港エアポート物流エリアは、オーケランド空港界隈にあり、3つの冷凍倉庫および初の無人操縦「スマート倉庫」、無人分別による越境EC電子マーケットが備えられている。

中国商務省の予測では、今後10年内で、「一带一路」沿線国家の貿易取引が毎年2・5兆ドルを超える規模に膨らんでいくものと見込んでいる。ニュージーランドは、西側諸国とのうち、もつと

も早く中国とWTO加盟交渉を妥結した国であり、最も早く中国の「市場経済国地位」を認めた国であり、はじめて中国と自由貿易協定を締結した国であり、はじめて中国と「一帯一路」戦略協力関係合意を締結した国となる。

構想ではなく、まさに現在進行形の確実な地域統合戦略であることは、確認できていると考える。

以下では、2018年度の目玉プロジェクト案件を取り上げてみたい。

カンボジア新国際空港建設案件

2018年3月19日、カンボジアRULE新国際空港PJが正式に着工した。

アンコールワットから40キロ、RULE市内から51キロ離れており、敷地面積は700ヘクタール。竣工後には、カンボジア最大のエアポートとなる。第1期目の投資総額は8・8億ドル。観光産業は、カンボジアの2番目の柱産業になつてゐるだけに、今後の景気拡大において期待が広がっている。

ラオス高速鉄道網整備事業

2017年11月着工、2021年完成

をを目指す巨大インフラ整備事業。中国の雲南省からインドシナ半島を縦断し、マレー半島の最南端シンガポールまで延びる全長3000キロに及ぶ高速鉄道整備計画。ラオスにとっては、初の高速鉄道計画。ラオスにとって、60億ドル（ラオス国家予算の2倍にあたる）円新規案件は、2021年秋の完成が待たれていて。

現在、大型インフラ施設（港湾、ハイウェイ、高速鉄道、ダム、トンネル、産業パーク、物流コンテナ基地など）建設計画が次から次へと実施されており、その地理的な広がりは、中央アジア地域をはじめ、東南アジア、南アジア、中近東、アフリカ諸国、欧州、中南米、ラテンアメリカなど70か国以上をカバーする。即ち、大方の世論で言われるような「具体性を欠く」幻の单なる口先だけの

切り開かれて、真新しい近代建築、ビルと大型商業施設や住宅街建設、火力発電所建設もはじまつた。地元では、「黄金郷」と呼ばれるほどの巨大インフラ建設プロジェクトである。ラオスは、国連が「最も開発が遅れている」後発途上国の一につに認定しているので、政府は、この事業を後発途上国から抜け出す好機と捉えており、北は中国、南は東南アジア諸国、日本との貿易促進の起爆剤として期待をかける。総事業費のうち、42億ドルが中国側の負担、18億ドルがラオス側の負担で賄うが、うち15億ドルは中国から融資をうけ、残り約3億ドルを財政から拠出する仕組みだ。60%の工事部分は、トンネルや橋に占められる難工事。請負業者は、中国国営大手の中国鉄道建設グループとなつており、技術的な障害はクリア一されている。

このように、沿線国向けのインフラ海外投資実績については、東南アジア諸国との経済連携を強める「南アジア・バングラデシュ・インド経済回廊」のような新規案件は、2021年秋の完成が待たれていて。

2018年6月末まで、一帯一路沿線に広がる中国系企業の進出が凄まじく、海外支店・営業所9112か所を数え、

世界185か国地域をカバーしている。

そのうち47社は中央国営企業による資本

参加、提携、出資または技術移管に基づいており、現地関連プロジェクト数は、1676に及ぶ。シルクロード基金（2014年末設立）がコミットした関連事

業総投資額は800億ドル。2016年末まで、AIIIBによる貸付金が17億ドル、9プロジェクト。融資総額は、42億ドル、12か国24プロジェクト。2016年、中国勢の海外投資実行ベースでは、

2200億ドルを数え、世界市場に占める割合は9・5%へ伸びている。ほとんどクロスボーダーM&A取引形態が取られており、中国勢の年平均売上高の伸び率が4・5%。トータルで2万5410社が進出済みである。

トップランナーとして、1例を挙げる

と、中国交通建設グループの場合、沿線国での道路整備工事距離数が1万320キロ、95か所の深水埠頭、10か所の空港、152の大橋および2080キロの鉄道、調印済みプロジェクトは400億ドル。前掲ラオスの高速鉄道案件においても、主幹事会社となっている。

習近平の対外政策の骨格は、主には3つの柱から構成されていることは、多くの論者が指摘している。

①米中関係の安定化を図ること、②「核心利益」という概念の導入で、中国外交のボトムラインを明確化すること、③法社会における自国の影響力拡大を狙う。

かかる大国外交の戦略枠組みの中に、日中関係を見据えたアジア戦略の方向性が打ち出されており、それが、鄧小平時代の16文字からなる外交戦略指針からかなり前に踏み出した積極的なものとなつた。「綜合」権衡、宣戦当戦、合縱連衡、維權

并舉」。要約すれば、「戦略戦術を駆使して、戦う時は戦う」ということである。

「船光養晦」鄧小平の「力をひけらかさず、控え目に」という政策を堅持しながらも、実際は、「有所作為」つまり「するべきことはする」にウェイトを移し替えたのである。その理由としては、習近平政権発足当初の1年～2年の間は、オバマ政権が「アジアへの復帰」を宣言し、「アジア地域における米国の一国優位体制を維持する」というメッセージを発信した。経済的には、環太平洋経済連携協定（TPP）を推進し、安全保障分野では、日本、豪州などのアジア太平洋の同盟国との間で軍事協力を強化する。こうした

して受け止め、強い危機意識をもつて激しく反発した。

こうした「内憂外患」に直面する習近平政権が打ち出した外交戦略方針が、「一带一路」構想と称する「新シルクロード戦略」である。従って、今年11月には、中国初の第1回中国国际輸入博覧会兼国際貿易フォーラムというビックプロジェクトが2017年秋の段階で企画され、約1年間にわたる下準備を着々と行っている。

昨年10月から中国側は、世界200以上の貿易相手国・地域に対しても、「第1回国中国国際輸入博覧会兼国際貿易フォーラム」への誘致のための招請状を送付し、開催準備が始まつた。2018年7月末時点では、86か国が参加、出展を決めている。1032社の海外貿易商社や専門業者が契約済み。欧米諸国、日本など先進国企業テナントが34%を占め、「一带一路」沿線国家からの出展企業も48%を占め、もっとも遅れている途上国企業が10%を占めている。上海の虹桥国際交易中心ミナルセンターに位置する国際展示場の敷地面積は、17・5万平方メートル。来場者は15万人以上を予想。開幕式セレモニーでは、習近平主席が開催の祝辞を述べる予定。2017年5月14日(火)

15日に開催された「一帯一路国際フォーラムと首脳サミット」に次ぐ大掛かりなイベントになっている。つまり、昨年度からすでに米中貿易摩擦の勃発を織り込んだリスクヘッジ対策という意味を持つている。

いざれにせよ、1978年から40年も続いた「改革開放政策」の着地点として、「一帯一路」構想を位置付けている点で、さらなるグローバリゼーションの流れに乗って、改革開放政策の続投を宣言したことになる。

結果的に、もっともリスクが高く経済規模も小さい最貧困が連なる中央アジア、南アジア、中近東の沿線国を横断する地域を選んだことは、習近平のアジア外交にとって、いわば苦渋の選択にほかならない。2013年共産党第18次5回会議で採択された「平和的な台頭」の国際対応で、「国際政治経済の公共財」の提示が可能なアジア中心の経済統合を目指し、アジア地域を資源エネルギー供給の後方基地とし、米国のプレゼンスを削ぎ落とすことで、アジアでの求心力を強める狙いがある。

「人類運命共同体構築」とは、宗教对立やイデオロギー紛争や国際テロ活動または世界規模の金融通貨危機、地球温暖

化危機などといった人類共通のクライシスの対処法ないし国際対策ソリューション構築において、中国のプレゼンスを示すため、既存グローバルガバナンスに対する補完、修正、補強機能の役割を果たす意欲があることを意識したものである。それには、異なる民族・国家間の相互信頼で作る「相互信頼の共同体」と「責任共同体」、貿易や投資の活性化から作る「利益共同体」ネットワークが土台となり、最終的には、「運命共同体」が構築されるようになるという発想である。

「陸上」と「海上」という2つの経路は、いざれも紀元前3世紀からはじまる中国の漢の時代、隋や唐の時代から延々と続く歴代封建王朝時代の国際経済秩序レジームからヒントを得た戦略アイディアである。「シルクロード経済ベルト」は、投資総額が8900億ドル以上と予想される「6つの国際経済回廊」を構築し、「海上シルクロード」は、2つのルートを中心に行進するとしている。

中国が世界経済の中心的な地位を誇っていた古代シルクロードの再現を意識しながら、アジア、ヨーロッパ、アフリカ大陸に跨がる一大経済圏の構築を目指すものである。「一帯一路」におけるインフラ整備事業を資金面から支援するため、シ

ルクロード基金や、アジアインフラ投資銀行（AIIB）、BRICS銀行、上海協力機構開発銀行などの設立計画が、中国の主導で、ダイナミックに進められている。この一連の取組みは、戦後米国が西欧諸国を対象に実施したマーシャル・プランの再来を思わせるものであり、一部のメディアでは「中国版マーシャル・プラン」と呼ばれている。

具体的には、「政策面の意思疎通」、道路をはじめとする「インフラの連結」、「貿易の円滑化」、「資金の融通」、沿線国の「民心の意思疎通」の5つの分野でのグローバル・コネクティビティを呼びかけて、新興国政府と産業界を動員して進められている。即ち、東アジアとヨーロッパ地域、ないしアフリカ大陸、中近東地域との間に「東西を結ぶ」橋渡しの役割を担う梁の下の「うち弁慶」という存在である。

一帯一路沿線国カントリーリスク分布

沿線72か国地域のうち、過去10年間にわたり、政権交代、軍事クーデターまたは内乱が頻発した国が22か国、長期化の泥沼に陥った国が8か国となる。タイ、ネパール、パキスタン、エジプト、モルドバ、ポーランド、イタリア、イラク、

レバノン、ウクライナ、チエコ、ラトビア、リトアニア、ギリシア、シリア等の国が該当する。世界銀行WGIデータバンク統計資料によれば、「一带一路」沿線72か国の政権腐敗度レベルが世界の175か国平均スコア（43）よりも10ポイント低い35点しかなく、中央アジアに至っては、その得点がわずか22・8しかなく、世界175か国の中でも、154番目の低位に留まる。世界範囲から見れば、もっとも政治的腐敗が深刻な地域に該当する。

国別に見られる投資リスク

カンボジアは、沿線国の中でも企業設立ハードルがもっととも難しい国。189か国のうち180番目、企業新規設立は87日間を要する。ビルマでは、契約履行のハードルが最も高い。契約紛争が民事訴訟まで発展してしまった場合は、被告が提訴されてから実際に執行にいたるまでのタイムプロセスが1160日間もかかる。東ティモールがワーストワン。訴訟提起から判決まで平均1285日間かかり、ようやく支払いに応じてくるのである。アフガニスタンの場合は、投資家保護レベルが最下位である。沿線国65か国に関するIMFの調査結果では、平均G

DPI額が2068ドル、世界各国平均値（3900ドル）よりも大幅に低い。しかも経済規模が小さく、産業構造が化石燃料、資源に偏っている。

中国WTO「ンプライアンスと「一带一路」特需

①2011年12月、中国のWTO加盟17年目を迎える中、「一带一路」提唱から5年目の現在、アメリカのビジネス社会に匹敵するほどのビジネスライク訴訟社会とアジア伝統型社会の定着が進んでいるという実態がある。

そこには、中国独自の法理念と法体系近代化整備がまだ途上にあるというアンドバーレントが生じているにも拘らず、

「法による支配」VS「党／国家の支配」

――「社会主義法治国家」という既成の構図が顕在化しているため、WTO（国際貿易機構）が求める「WTO議定書」に則ったコンプライアンス遵守のルールに、いまだに中国が対応できているとは、言ひがたい。今後避けられないのは、②外資系企業の投資／経営事業活動に対する法整備をきっかけとするWTO

西対立。大陸法と英米法との間に起きたリーガル紛争から生まれる新たな法文化再生から、今後日中間の経済摩擦よりもスクヘッジへの対応が一層困難になることが予想されよう。

従って、日系企業の対中ビジネス事業は、かかるダイナミックな法制変容と「一带一路」沿線国投資環境の変化に適切に対応できる強力なハイブリッド法務戦略スキームと経営の現地化、危機管理の要請に相応しいコーポレートガバナンスとビジネスモデルを早急に再構築することが急務であろう。

米中貿易摩擦めぐる中国側の見方

最後になるが、昨今気になる国際情勢の1つ、米中貿易摩擦を取り上げてみたい。7月6日付け米国側が発動した500億ドルの制裁関税措置が、今後さらにエスカレートする見込みが高いので、短期的には、貿易戦争が激化の一途をたどり、両国とも景気後退、内需縮小、中国经济の減速、輸出企業、通信機器、半導体産業を中心に企業業績悪化が予想される。しかしながら、対中制裁の「返り血」によって、米国の家計部門が被る

「悪いインフレ圧力」は、相応に大きいものとなると予想できよう。7月6日付け第1リスト（500億ドル）関税については資本財が43%、中間財が52%、消費財は、わずか1%。そのうち米中通貨戦争へと飛び火、国際金融危機の再来を招くとの観測もある。

さて、日本への影響については、短期的にも現れている。その証拠として、中国製建設用鉄鋼・アルミ加工品やカラーテレビ、空調部品などの輸入がすでに急増。米国から押し出される中国勢は、代替市場と得意先を日本に求め始めた。第2回目の大型報復措置（2000億ドル）が発動すれば、米国のほとんどの家計消費に影響が出るものと予想されよう。理由としては、米中貿易統計に潜むからくり——約1000億ドルのギャップがあること、加えて、米国の対中貿易赤字幅が一向に縮まらず、構造的な問題になってきた事実がある。対中赤字幅は、1985年時点の6億ドルから、2017年の3752億ドルにまで膨らんだ。その間、米国の対中貿易赤字累積額は4・7兆億ドルになった。昨年度、米国の対中赤字は、対外貿易赤字の半数に近い規模になつた。中国側は、黒字額の高止まりにつき

「米国の低い貯蓄率、ドルの国際通貨機能、米中の産業競争力の差と、国際分業、ハイテク製品の対中輸出制限」といった要因を指摘している。

実際のところ、HUAWEI、ZTE

という2大中国大手通信機器メーカーに対する米国議会の「スーパー301条」

知財権侵害への制裁が今回の引金を作った。

従つて、今後の想定シナリオは、次のように考えられるのではないかと思う。

7月末までに米国による追加制裁措置

2000億ドルの発動——中国側が600億ドル規模の報復関税で応酬。

第3弾…ハイテク企業の閉め出し競争／通貨戦争

第4弾…市場ダウンサイジング競争（不買運動）

第5弾…中国による米国債の大量売却による債務ショック

第6弾…米国は、サイバー戦争をしかけ、中国のネット通信網の消滅を狙う。集積回路も閉め出す。

第7弾…中国が台湾へ進撃し、米側は、中国の在米資産凍結と指導者、官僚層の資産リスト公開——国債価格の暴落という最悪の連鎖が働く。

最悪のシナリオを避けるため、米中両国が知恵を絞って欲しいというのが、筆者の気持ちである。

(2018年7月19日・公開アジア研究懇話会)

筆者略歴（はん うんとう）

1963年上海市生まれ。85年上海復旦大学より文部省招聘国費教員研修として京都大学法学部に留学。92年同大学大学院博士課程修了。助手を経て東京大学法学部より法学博士号を取得。東ケンジ一東京青山法律事務所に国際弁護士として勤務後、上海に帰国し、日系企業の「駆け込み寺」となる。

現在、亞細亞大学大学院アジア・国際経営戦略研究科教授、日中関係や日中経済論、国際ビジネス法務について、理論と現場の両方に精通した第一人者として知られる。

著書に、『中国ビジネスの法務戦略』（日本評論社）、『やつぱり危ない！中国ビジネスの罠』（講談社）、『中国ビジネスとんでも事件簿』（PHPビジネス新書）などがある。

アメリカ・地球、住んで旅して騙されて —異文化理解と多文化共生

定年生活アドバイザー／地球漫歩自悠人 小川律昭

教育学博士／エッセイスト 小川彩子

「変化こそ人生、体験こそ財産なり」と好奇心のまま動き回った119か国。結婚50周年記念には50か国訪問の旅、40周年記念には夫婦別々に旅をし、デートは地球の反対側でしてきた変わった夫婦の奇妙な人生をほんの一部紹介する。

I、超内気な主婦が自己変革 —内なる挑戦から外への挑戦へ

渡米。着いた翌日大学院の門を叩き55歳で修士号を取得した。58歳で博士課程に進み、還暦を迎えた年に博士号を取得、還暦祝賀パーティーで母・八重子から届けられたメッセージ「静かな泉の水は涸れることなく精進し続けよ——という意のその言葉は今も胸に響き、「物事を始めるのに年齢は無関係」や「目標を持つことの重要性」などのメッセージを発し続いている。

日本での学生時代はおとなしく、自己主張をすることができず教室で目立つことはなかった。人生の転機は30歳のとき。自分とは正反対で自己主張が強い夫・律エッセイストの彩子はグローバル・平和教育学者。52歳の時夫の転勤に伴って



学院の門を叩いたが、肝心の学業は苦闘の連続だった。シンシナティ大学工学部入学当初実験が多く、老眼で目盛りが読めず、プライドが傷つけられる日々。路

泣笑い挑戦人生

線変更を決めザビエル大学教育学部に転学転部。その軌道修正が吉と出た。渡米後、飛行機の中で立てた目標の1つ、「アメリカ文化を受信するだけではなく日本文化を発信する」の通り同大学に日本語学科を設置するよう働きかけ成功、自らが初代教師として日本語・日本文化を教えることになった。苦あり楽ありの人生を「泣き笑い挑戦人生」と呼んだが、教壇に立つようになりようやく「笑い」の部分が多くなった。その後著書6冊目となる『Across the Milky Way・流れる月も心して』を出版、世界を旅する主人公が各地で人の温かさに触れるという物語で多文化共生が大きなテーマ、英文・和文併記ゆえ英語の教材にもなる。この出版での日、飛行機の中で立てた目標は全て達成したことになる。

II、足と心で異文化交流 ——人間遺産と触れ合つ旅

アルメニアで出会いジヨーニアで別れ伊朗で再会、大歓待の日々　～イラン・イスラム共和国～
出発前世界の諸々で爆破があり、心の準備をして出かけた。旅行者もイスラムの戒律に従わねばならず筆者もベールで身

体中隠す服装で。アミールが空港に来て驚いた。アミールとは5年前アルメニアの長距離バス乗り場で会い、ジョーニアへの国境越えバス車中で親しくなり、到着したトビリシで一緒にホテルを探し、ネストという民宿で2泊しただけの関係だ。我々が先に宿を発つことになり、彼が不在だったので彼に簡単な弁当と手紙を残した。その後たいしたやり取りもなされればとても幸せ！」と言い張った。

アミールの両親一族や夫人マシードの両親一族の歓迎饗宴続き。特筆すべきはマシードの妹、マヌーシュの大学の1講座でスピーチを頼まれたこと。多文化共生について1時間、教官も学生も眞剣に聞いてくれた。過去約119か国訪問で親切には色々あったがこんな親切漬けは初めて。なぜ？」と問うたら1枚の紙を見せ、「アルメニアで貴女が残した手紙覚えていきますか？」「いいえ」「これです。なくさないようコピーも取って眺めてきました」。私の筆跡だった。「会えて嬉しかった！どうぞ東京へ来て私宅に泊まってくれない」という簡単なもの。彼曰く、「ご夫妻の温かさを感じ、日本人を大好きになりました」と。3日目の深夜、抱え切れぬほどのお土産を頂き、イスファハンに向かう長距離バス停で見送られた。マシード姉妹は涙、涙で別れを惜しんでくれ、後ろ髪で眠れぬ夜行バスだった。人の縁は妙なり、と地球の一角での「一期一会」を楽しんでいる筆者夫婦である。（彩子）



アミール一家による晚餐

く、今回「イランに行くよ！」と連絡したらなんと彼の住むハマダンからテヘランへ350キロ運転して迎えに来てくれ、往復700キロ、7時間以上運転して自家宅へ。「My home is your home! 泊ってくれればとても幸せ！」と言い張った。アミールの両親一族や夫人マシードの両親一族の歓迎饗宴続き。特筆すべきはマシードの妹、マヌーシュの大学の1講座でスピーチを頼まれたこと。多文化共生について1時間、教官も学生も眞剣に聞いてくれた。過去約119か国訪問で親切には色々あったがこんな親切漬けは初めて。なぜ？」と問うたら1枚の紙を見せ、「アルメニアで貴女が残した手紙覚えていきますか？」「いいえ」「これです。なくさないようコピーも取って眺めてきました」。私の筆跡だった。「会えて嬉しかった！どうぞ東京へ来て私宅に泊まってくれない」という簡単なもの。彼曰く、「ご夫妻の温かさを感じ、日本人を大好きになりました」と。3日目の深夜、抱え切れぬほどのお土産を頂き、イスファハンに向かう長距離バス停で見送られた。マシード姉妹は涙、涙で別れを惜しんでくれ、後ろ髪で眠れぬ夜行バスだった。人の縁は妙なり、と地球の一角での「一期一会」を楽しんでいる筆者夫婦である。（彩子）



日本観覧の女性詩人 Jeannine とチューリップ・フィールドにて

「一か八か切符を買い、問題抱えて入国挑戦！」
アメリカ合衆国へ入国の可能性50%の渡米切符を「エイヤッ」と買い、シアトル空港から成田へ逆戻り覚悟でアメリカへ。アメリカはiran人を拒否するだけではなく、過去にiranに行つた日本人も入国拒否してきたのだが、我々夫婦は昨年8月にiranに行っていた。アメリカ大使館に聞いても「アメリカの空港に行つてみないと

判りません。入国審査官が決めるのです」とだけ。「一か八か切符を買って出かけるしかなかった！」抱えていた問題はこのiran訪問ではなく筆者の健康問題。大動脈瘤で2月に3つのステントグラフト挿入手術を受け、やっと普通に歩けるようになった状態だった。さて結果はいかに？ 入国審査が自動化され今まで審査官を前にやつてきた入国手続きを機械相手に自分で行い、出てきたチケットを係官に渡すだけだった！ ニューヨーク空港では2015年に経験したが、シアトルもそうなつていたのだ。だが、別の問題が！ 帰りの飛行機で通路にぶつ倒れたのだ。

（律昭）

警察署でインテグリティー説教　「ドミニコ共和国」

カリブ海に浮かぶイスパニョーラ島のドミニカ共和国はコロンブスが第一歩を印した地、海外協力隊のお陰か日本人は入国税10ドルが不要だ。プンタカーナ近くのリゾート、ババローで淡碧色のカリブ海を満喫したあと、カリブ諸国中の最大都市、サント・ドミンゴにやつて来た。コロンブスの子孫が三代にわたって住んだ建物、アルカサールを見て他の見所は観光バスで回ろうとホテルで予約した。

やつてきた男は自称マイク、「観光バスと同じ費用で見どころ15か所をタクシーで巡つてあげる」と、観光地の写真を見せ喋りまくった。この地でよく見かけるイモリにそつくり、と言つたらイモリに失礼だろうか。車に乗つたら「あれは別予算、これも別」と約束を守らず領収書もなし。「よし、時間があつたら教育してやろう」と教師の血が騒いだがその時は胸に収めた。トレス・オホスという湖は洞窟の長い階段を降りると現われる翡翠色で引き込まれそうに美しい底なしの湖。インディヘナの神聖な場所だったがインディヘナはスペインの征服者に皆殺しにされたという悲しい歴史を持つ神秘な湖を見てマイクの車を降り、ペルト・プラタの白い砂浜や要塞、ボカ・チカの遠浅の海岸で純情な人々との交流を楽しみ、5日後サント・ドミンゴに戻つて来た。

旧市街にある小さい警察署に立ち寄つた。若い柔軟な警察官が好感を持って聞いてくれ、10分後「その男が警察署に来ています」と。署員が気を利かして呼んだらしい。事件後5日も過ぎていて何事かと不安になつたのかマイクは子分を連れており、紙幣をちらつかせ、言い訳を準備していた。曰く、「あの日はコンヒューズ（混乱）していた。いくらお返



iPad が縁で友達となり家まで招かれた姉妹と（オマーンにて）

しすればいいですか？」「領収書はすぐ書きます」。子分らしき男も「コンヒューズ、コンヒューズ」と口真似した。警察署の入り口に人だかりができ始めた。制服警察官、日本人の女とその夫、公園周辺で顔を利かすイモリ達、という顔ぶれが立っているのだから通行人の興味を惹いたのだ。筆者の出番だった。「そんなお金が欲しくて旅の道中、貴重な時間を

割いて警察署に立ち寄ったのではない。

嘘つきは嫌いだ。車に乗る前の説明と実際とが異なるのが問題だから来たのだ。

私は大学で多文化教育を教えていたが、Integrity の重要性について話すことが多かった。インテグリティーとは信用、即ち言行一致だ。私たちがドミニカ共和国で会った人々は皆さん素敵だった。マイクを除いて！」とイモリ君を指差した。拍手が起り、警察官やイモリの子分まで笑った。“Except for Mike!”（マイク以外は）皆さん素敵）が受けたのだ。指を差されたマイクまで苦笑し、やがて警察署員が「ご来署有難う！」と。小さな事件を知らせに立ち寄ったことも警察署を出るとすぐマイクは先ほどちらつかせたお金は引っ込め、「コーヒーは好きですか」と聞き、ドミニカ・コーヒーを買ってきて手渡し、子分と一緒に消えた。日本に戻り、筆者は「お喋りイモリ君」を思い出しながら今香りの良いコーヒーを飲んでいる。

（彩子）

鶴竜のお父さんに会えた！——父君は学部長（当時）で思慮深き教育者 ジモンゴル国I
筆者は相撲ファン。相撲は裸一貫、丸

腰で戦い、技能、頭脳、努力、忍耐力が物を言うスポーツで体躯の小さい力士が巨漢を軽々と倒すことも大きな魅力だ。横綱の鶴竜は小柄だが努力家、常に冷静で頭脳的な相撲が多い。どんな家庭教育をされたのか父君に会ってみたいと思つていた。ブルガリアでは琴欧洲のお父さんに会って記事にしたので「こんどは鶴竜だ！」と。彼の父上、チメド・マンガラジャラブさんは国立大学の教官と知っていたが面会予約もできずに出来かけ、入国してからもチンギスハンゆかりの遺跡など、広大な草原の探訪が先になり、ついに滞在最後の日となつた。キャンパスの一角にモンゴル・日本センターという建物があり飛び込むと、図書館で働くアザーさんが、彼はモンゴル国立科学技術大学の学部長だと調べてくれ、「行って見ましょう！」と。7月1日のその日はコメントメント、角帽とガウンの学生や家族で溢れていた。学部長は祝福の辞を述べねばならないので学部長室には不在。が、アザーさんの努力と筆者の粘りで2回の式典の合い間に会つて頂けた。持参していきた筆者の鶴竜記事と「鶴竜のファン」がもたらした好運だったろう。

筆者は鶴竜をどうのように育てられたかを伺つた。①個性を育てる教育です。

アナンダ（鶴竜の愛称）の興味を聞き、彼の好きなことを重視し、それを育てるよう一緒に考えました。アナンダは初めアメリカ留学の夢を抱いていましたが後に相撲が好きになり、彼の目標について親も一緒に考え目標必達を教えました。

②嘘をつかず正直に生きて行くよう教えました。失敗しても親に相談し、失敗の原因を究明し、一緒に考えて解決してきました。③モンゴルの秘史を5回読んでもらい男子の生き方を学ばせました。男子は常に「強くあれ、勇気を持ち、目的に向かって努力せよ」と。TV画面の優しい鶴竜から父の教訓が伝わってくる。

愛情に満ちた教育者の父君に面会し、昇る鶴竜が一層好きになった。（彩子）

ウギー湖畔で突然の歓迎——釣れたての淡水魚と馬乳のこ馳走

～モンゴル国Ⅱ～

かつてのモンゴル帝国の首都でカラコルムと呼ばれたハラホリンの世界遺産エルデニ・ゾーへとランドクルーザーを調達、緑の牧草地を800キロ。道なき道で馬、牛、山羊に進行を妨げられつつ13時間前後左右上下に身体を揺すられる行程は腰痛と癌持ちの夫婦には酷だったが、通りかかるウギー湖で疲労が霧消した。湖畔でピクニックをしていた親子が「息

入歯も泳いだエンジェル・フォール

ベネズエラのギアナ高地にある落差世界一（980m）のエンジェル・フォールはそこに至る行程が未開発である上、ジャングルに囲まれているので基地であるカナイマまでセスナ機で行つた。ボートでオリノコ河から上流へ遡上、ジャングルを歩きまた川を遡上して支流のカラオ川へ。瀬音も脳に響く。急流に変わったチュラン川を遡行すること1時間、湿地ジャングルの木の根と岩の間の密林を登ること1時間、汗だくでようやく滝の上部全貌を見上げる岩場へ、近づく滝の

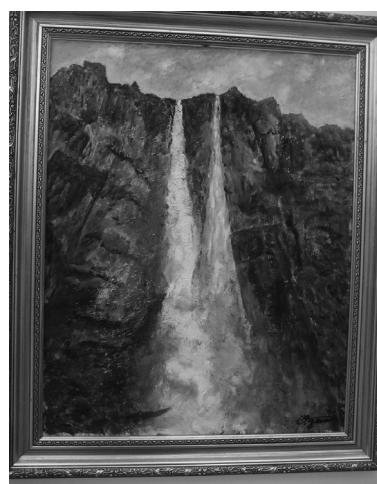
音に勇気付けられ、ヨイショ、ヨイショのかけ声で。

子が英語を話します。一緒に食べましょう！」とご招待。ムンク君は国際高校の生徒、礼儀正しく英語は流調で会話力に富んだ。何とウギー湖で釣つたばかりの魚をすぐ調理し、搾りたての馬乳と共におもてなし。初体験の馬乳は酸味がありこれも美味だった。「世界遺産より人間遺産！」という我ら夫婦の信条通りモンゴルは出会い中心の旅となつたが、濃密な家庭教育と大変家族の絆が強いことを実感した。2組の麗しい親子に馬乳で乾杯！

（彩子）

なるほど素晴らしい光景だ。雄大な大自然の神秘が目の前に！ 岸壁を伝わる2筋の水の束は靈感を呼び莊厳そのもので世界からの観光客を感嘆させている。滝を見上げた岩場から下つて滝壺に到着。周辺は水の飛沫が氣化して靄つており水面は柿の渋を流したように光沢のある黒色、複雑な水流で盛り上がっている。若者に混じってエンジェルの滝の滝壺で泳ぎ始めた。70代は筆者1人だったろう。そのうち流れ急な落下点付近でなんと入歯が勝手に泳ぎ出したではないか。パニック状態で追いかけ取り取り押さえるのに必死となり見えなくなる寸前にやっと捕えることができてホッと一息。歳なりのものの考え方をしないとなんだ目に遭うと感した。だが滝壺で泳いだことはわが生涯の記念である。

（律昭）



エンジェル・フォール

キューバ..キューバでできた友だち、シナーライに筆者が癌を告げたら、「キューバの医療は高レベルです。ぜひキューバに来て治療して！」と、涙が出そうなご招待を頂いた。

(彩子)



キューバの首都ハバナで、民宿の家族と

ウルムチはスマホ片手のおしゃれカップル
花盛り！ ↗中国
人口250万人の街ウルムチは緑の街
路樹に覆われた近代都市だ。至る所に交

番を兼ねた検問所が必ずあり、身分証明書（外国人はパスポート）を要求される。

国なり！」と実感した。

(律昭)

書（外国人はパスポート）を要求される。公共の建物は皆チェック体制があり手荷物検査、大きいバス停も降り口で検問だ。団体観光バスも外国人は入口でパスポートの点検と記録があり列を作つて待たされる。深夜も主要道路はパトカーがパトロールしているのがホテルの窓から目に付くが、世界でも見かけなかつた光景で、とにかく街中が警官だらけだ。ウルムチ（烏魯木齊）市からトルファン（吐魯番）市へ。

宿泊した有名ホテルでもレセプションで英語は通じず困つていると、ホテルの女性社長がスマホを見せ、英文で「西遊記に登場する火焰山周辺と世界遺産の交河故城（シルクロードの一部）を見るべきです」と、「1人150元、4人組で1日観光」を提案し、若い仲間とトルファンを見学

できた。入園料全てをまとめて若者がスマホで支払つた。スマホがあれば試算、精算が即座にできる。通訳の機能もあるのでスマホさえあれば通訳不要だ。乗合いバスの中で停留場を質問した女性のスマホに英文で答えが明示された。誰も英語を話さないが皆がスマホを持ち、尋ねたことを推察して現地語で解釈、答えは英文に仕上げて「これ」と言つてスマホの画面を見せてくれるのだ。「利便性の中

結婚50周年記念5か国訪問地球千鳥足Project..地球上の人の縁を追い求めて

かつて旅した数十年前と現在との国情並びに庶民の暮らしの変化を地球人として知る旅。還暦前から約20年、異文化での生活を体験して大いに刺激を受けた我々夫婦だが、咄嗟の出来事には瞬時の判断・決断をすることで、旅も精神や脳の活性化を喚起し、予防医学に役立つと思つている。縁あって苦楽を共にした1夫婦が結婚50周年（78歳、72歳）の記念に50か国を経巡る地球バック・パックの旅の意味を同世代や後進若者と分かち合いたい。期間 2011年。11月までに3～6か月（2回に分けてもよい）予算 100万円

旅のデザイン案 地球6大州の突端を巡る旅、タスマニア、カニャークマリ、ケープタウン、ウシュアイア、アイスランド、パナマ 関心都市は初訪、再訪含み、ハバナ、ボゴタ、マナウス、リオデジャネイロ、カサブランカ、トリポリ、サンクトペテルブルグ、キエフ、テヘラン、ポンペイ、カルカッタ、ビエンチャン、ポートモレスビー、メルボルン、など50か国。

毒舌夫と頑固妻、ワンワールドの旅へいざ出発～ポルトガル～

我ら夫婦は本年11月結婚50周年を迎える。幼少時から一言居士のあだ名で育つた毒舌夫と、妥協が嫌いな頑固妻が、喧嘩しながらも迎えた50周年を記念し、11月までに50か国訪問しようではないか」と。過去、記念の年ごとに特別の旅を企画してきた我ら夫婦だ。結婚25周年には「カサブランカで会いましょう！」と同時に家を出て夫は北周り、妻は南回り、1つの国を隈なく見てからモロッコへ向かうというルールだった。夫はオランダ、妻はパキスタン選び、25年前のことゆえ地を這うような旅だったが無事カサブランカで会えてグラスでカッチンした。結婚40周年にはこれまた地球の反対側、サンチャゴで会いましょうと、夫はアメリカから妻は日本から出発、待ち合わせ場所のサンチャゴ空港で会えず、すれ違いを繰り返した後会えたのだった。今回の50周年では、お互いを心配し合うより一緒に50か国経巡ろうと決めた次第だ。良い年の夫婦ゆえ、ワンワールドはビジネスクラス、シンシナティのJTBで切符だけで370万円だった。この50周年の旅企画には50か国という数字だけでなく、夫は6大陸の最南端（国が海に面し

ていればその国の最南端も）を訪問する、妻は訪問国ごとに最低20人へアンケートをしつつ歩く、という計画。アンケートのテーマはIntegrity（信用度・信頼性）、わが人生最後のリサーチをして学会に発表するという野望を持った。

なぜ Integrityか。ご存知だろうか。

世界を歩いて感じことだが日本人は概ね／大変好感を持たれているがそれは言行一致、信用度が高い、ということに起因している。リスボンに着き、まずは夫の希望、ユーラシア大陸最西南端の街サグレスを目指した。英国航空のニックが「日本と日本人大好き」と降りる時スコット車の中で隣席の人々と乾杯しアンケートに答えてもらった。

（律昭）

出会いと再会、多文化共生の小川地球村塾よりハロー、二ハオ、コモエスター？

この塾は年2回、異文化を学び多文化共生のヒントを求める、「異文化理解と多文化共生」パートナーだ。「たった一つの丸い船を分かち合う地球村民の集い」と歌うこの塾は、村人が共有する知恵を基盤に人種や民族を超えて平和的に共生する術を楽しく学び合うという目的を持つ昼食会だ。この集会には5つのプレ

ゼンテーションがある。①多文化共生の学習。②多文化アート紹介。③多文化音楽＝種々の楽器の演奏や合唱。④多文化若者やシニアの縦の交流、異文化背景の人々との交流ができる。出会い、再会、多文化共生、平和希求のこの会は「みんなが主役」、友は、人の縁は宝なり。（彩子）

III、異文化理解と多文化共生の教育

多文化共生とは文字通り多文化背景の人々が共に生きることであるが、そのためには「異文化への鋭い感受性とグローバル意識を育み、異文化背景の人々と隣あつて住み協働し、自グループの立脚点からのみでなく他グループの立脚点から物事を見たり思考することができ、説得力を持つて対話や意見表明し、地球的視野で正義や平等の実現に向けて努力する態度を育む」ことにより実現する。それには多文化教育、グローバル教育が必須である。文化的摩擦や衝突で生じる火花が炎上して当事者同志を断絶させることを防ぐにはまず異文化理解と多文化共生の教育が

必要だ。文化の衝突で生じた火花を、危険な炎ではなく美しい花火に昇華させるために教育の役割は甚大である。（彩子）

人生は素晴らしい。

（彩子）

V、挑戦に適齢期なし！

IV、自己実現と共生活動の交点

自己実現（Achievement）のみでなく、他の人／他グループのための活動のある

「年だ」は「まうだ」だよ。何をするにも遅すぎることはない。（彩子）

（2018年7月9日・公開フォーラム）

筆者略歴

（むがわ　ただあき）

鳥取県出身。定年生活アドヴァイザ

ー。（株）スリーボンドにてケミカル・

エンジニアや役員等、社歴40年。「変

化こそ人生」をモットーとし、「加齢

と老化は別」を信条とし、好奇心を武

器に世界を駆け巡る地球漫步自悠人。

在米20年、油絵、随筆の日々を楽しみ、

旅に関する講演多数。夫婦別々または

一緒に地球を経巡り、踏破した国は

119か国。在米日本人が読む新聞

J-Angle に夫婦で「地球千鳥足」を

書いて11年。

（おがわ　あや（J））

鳥取県出身。州立シンシナティ大学にて教育学博士。多文化・グローバル・平和教育者。エッセイスト。夫の転勤を機に52歳でアメリカの大学院入学、博士号へと続く道は泣き笑い挑戦人生。

主な著書 2017年『地球千鳥足～合う旅～』彩子・律昭共著（幻冬舎）。2004年『デートは地球の裏側で！～夫婦で創る異文化の旅』律昭・彩子共著（春陽堂）。2003年『還暦からのニッポン脱出』（文芸社）。2000年『突然炎のじとく』彩子（春陽堂）。1984年『Still Waters Run Deep Part II：音なし川は水深し』（英文和文隨想集）（梨の木舎）。1982年『Still Waters Run Deep Part I：音なし川は水深し』（英文和文隨想集）（梨の木舎）など。

その後准教授となりUCBAなどで教壇に立つ。「挑戦に適齢期なし」を信念とし、学会発表、講演、地球探訪を重ねる。人生は一度きり、騙され眠り薬を飲まされてもなお人間と地球への愛は失せず。



ジョージタウン（ガイアナ）の高校生たちと

（おがわ　あや（J））

鳥取県出身。州立シンシナティ大学にて教育学博士。多文化・グローバル・平和教育者。エッセイスト。夫の転勤を機に52歳でアメリカの大学院入学、博士号へと続く道は泣き笑い挑戦人生。

旅行記

続台湾紀行「弔魂碑」

阿部靖夫（会員）

秘められた「弔魂碑」の謎を解き明かすべく、今回の台湾旅行は弔魂碑建立者大津麟平の孫大津紀夫氏と同行になった。大津麟平の歴史をネット上で調べているうちにヒットしてきたのが『大津麟平伝』大津紀夫著作本であった。国会図書館に著作者本人が寄贈されているというネット情報を見て霞ヶ関まで足を運び、目的物にめぐり会う。次なは、大津紀夫氏本人探しと相成った。またもやネット検索にお世話になり大津紀夫氏の住所電話番号を偶然にも探し当ててしまつた。それから半年経て台湾台中谷関への同行となつたのだ。

山口県宇部市お住まいの大津氏は、実家の京都等持院町に泊まり関空から桃園空港へ、自分は羽田から松山空港へ、ほぼ同時駅まで1時間の乗車、午後4時

間の便を選択。そして台北駅高速鉄道当日券売場を集合場所とし合流を目指した。が、これが大間違い、集合予定時間になつてもお互い居場所が確認できず途方にくれてしまった。前もって

スマホのLine登録し、自我映像のやり取りやLine電話で話したりして準備はしていたが、お互に初顔合わせ、台北駅地階の雑踏と薄暗い雰囲気にどうにもならない状況に陥ってしまった。しばらく経つてWi-Fi電波状態が良くなり通話ができるようになり、居場所が分かり一階の大広場での初対面となつた。台北駅大広場正面上面には「岩手」の大看板が印象的であった。

待ち合わせ予定一時間遅れで台湾新幹線の乗客となる。台中駅まで1時間の乗車、午後4時

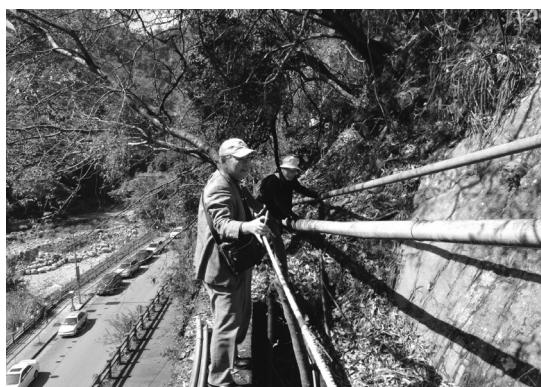
前に到着。今回お世話になる劉氏息子熊さんが自家用車で迎えに来てくれていた。目的地谷関大飯店まで約2時間の道のりである。

前回2017年5月谷関を訪

ねた時もそうであったが今回も天気に恵まれ快晴。1週間前から雨模様の中、春節を3日後に控えて自家栽培の柑橘収穫も一段落したようだ。我等訪台初日からピーカンの天気となる。

台中谷関2日目、いよいよ今

日は弔魂碑を目前で見られる日である。ホテルから大甲溪に架かる吊橋を渡り、一般道からダラダラ坂をのぼり踊り場で一時休憩。いよいよ急斜面になる。弔魂碑に行く歩道はなく、道路柵で閉ざされている。柵を乗り越えて行くのだ。熊さんの先導で、左肩上がり傾斜面の岩と温泉湯を通すパイプに沿って登つて行くと、突然道幅30cmのコンクリート通路になる。右側は断崖絶壁の大甲渓、50m下は急流。



20mくらいの命綱が張つてあるので、綱を頼りに進む。大津氏は自分より5歳年長なのに、もくともくと後に付いて来ている。登り始めて10分くらい経つたであろうか、大きい岩が目前に現れその向こう側に真っ白に光る石碑が見えてきた。やっと辿り着いたのだ！立ち止まりよく見ると弔魂碑が真白に輝いている。7段の階段の最上部に鎮座している。ゆっくりと近づきながら見渡す。今まで適わなかつた弔魂碑本体が現れたのだ！ 真っ白にまぶしく光輝いているようであった。登り始めからスマホビデオを回し続けていたので、石碑本体の正面には「弔魂碑 麟平書」の文字が切り込まれ、右側から裏側に回り撮影を続ける。裏側には文字が不鮮明ながら「明治四十四年二月二十五日 殉難 故台中府警部 原猪治 故台中府隘勇寥 故台中府隘勇 ヤボノーナン 昭和八年二月二十五日有志建立」はっきりと確認。前回訪台中谷関途中引き返しの無念を、この日晴らすことができた。

翌朝一人で昨日の道を散歩する。大甲渓の吊橋を渡り、古靈寺にお参りし、弔魂碑の下に差し掛かる崖の上を見上げながら行くと、壁が鉄骨の足組みとブルーシートで囲われている。昨日は気づかなかつたのだが、壁

台湾総督府理蕃總長当時の写真を持参し弔魂碑前に置き、遠い昔に亡くなつた（昭和13年他界）祖父を供養したのだが「大津麟平伝」執筆前にこの弔魂碑建立の情報があれば、台湾時代のもつと豊かな麟平像を膨らませられただろう。

旅行前に大津紀夫氏から送付いただいた麟平日記のコピーにも、明治四十四年二月二十五日ページ最後に事件の記載がされているが、残念ながら日記は昭和6年との記述で終わつていて、弔魂碑を建立した有志名や経緯については不明になつていて。どうして事件後24年も経過した昭和八年にこの弔魂碑を自ら建立したのか理由は分からぬままである。



大津紀夫氏は祖父大津麟平の面高さ15m幅20mくらいの壁に彫刻が施されたものが作られていて。はたしてこれは何を意味している。はたしてこれ何を意味している工事であろうか。もしや85年前に建立された弔魂碑を賛美する壁画であつて欲しいが……。古靈寺は弔魂碑と一体化された古刹です。明治31年日本人山田三郎創建と案内板にある。明治四十四年二月二十五日に北勢いただいた麟平日記のコピーにも、蕃との戦闘で亡くなつた三人の犠牲者を、昭和八年二月二十五日に弔魂碑建立と同時期に、大津麟平が資金を提供し大幅な改裝したのではないかと思われる。時代に発見され明治温泉と称された。警察関係者の保養所が作られていたためか、歓楽街もなく質素な温泉街として続いている。弔魂碑だけが何故こんな岩場の雑木林に囲まれた場所にひっそりと鎮座しているのであろうか？何のための弔魂碑なのだろう？

というのはここ台中和平区タイヤル族原住民の眼中では、霧社事件（昭和5年10月27日）發生1年前、当地タイヤル族の部落に、モナ・ルタウが率いる一族が侵入し老若男女が26名惨殺された事件があつた。「モナ・ルタウは英雄ではない。當時われわれの部落は彼によつて滅ぼされるところだった。本当に憎らしい」南投のモナ・ルタウ所屬のセディック族との鬭争の歴

史があつた土地である。そして昭和八年（1933年）ブヌン族の帰順と当時の大津麟平はご存知の事件であつたであろうと推測する。

夕食時 Facebook を開くと、

突然、ピッグニュースがスマホに飛び込んできた。それは大津さんとホテルにて一人で夕食を終わりかけた時であった。ニュースの出所は、熊さんの投稿した Facebook のコメント欄に、熊さんの友人からだ。この弔魂碑は古物として国家文化資産で既に登録され公開資料として発表されているという情報である。

30801000004

しばらく疑つてかかっていたのだが、これは本当なのか？ 公開資料を良く見てみると、類別…古物、級別…一般古物、種類…図書文献及影音資料となつて写真も添付されている。

1、弔魂碑建造昭和8年（1933年）。明治44年（1911年）

台湾協会等を訪問し資料を集め

1年）発生した北勢蕃との戦闘で日籍警部及び隘勇の殉職。

2、日治時期理蕃政策中部山区族との衝突。

3、碑文には日本人と原住民の名前が列挙されているなど歴史文物として貴重である。

広告日 2013年8月1日

保存管理は台中政府、古靈寺管理委員会。

写真も添付されており、5年

前登録時の弔魂碑と現在の姿を見比べてみると、昼間見た弔魂碑と階段3段目までが真白に化粧されていて、異常なまでの白さに驚いたばかりなのに！

今まで探し続けていた弔魂碑が、古物文化財になつていたのなら掲示して表示して欲しいものであるが、処々の問題があつたのかもしれない。今朝方散歩

時にみた壁面の工事が、どんな形で現れるか注意しておく必要がありそうだ。

1895年から1945年まで50年間の台湾総督府職員録が保管されている。蕃務業務日記のページを見る



最後に台湾協会である。

1895年から1945年まで50年間の台湾総督府職員録が保管されている。蕃務業務日記のページを見る

と大津蕃務総長が部下とともに台中南投蕃界視察。明治44年2月19日から3月6

までの行動がぎっしりと書かれている。原住民から銃器を回収した。

まず国会図書館では「大津麟平伝」大津紀夫著、これには理蕃策原議の全文が大津紀夫氏の訳文入りで、写真や解説文とともに書かれている。

日本台湾交流協会図書室ではマイクロフィルムから原猪治（長野県）が台中府東勢角支庁警部補勤務中殉職し月俸が三十円に昇給し一時金二百円支給され、大正2年10月には「生蕃及土匪討伐従事した69人とともに靖国神社に合祀されている。

台湾文化センターでは古靈寺と弔魂碑。歴史が一体化していって明治四十四年二月二十五日と昭和八年二月二十五日が連続してキーワード的に現れてくる。

こんな訳で日治時代の弔魂碑を巡る旅は今回で終了した。上記関係者には大変お世話になりました。

（2018年5月11日）

こんな形で台湾政府の古物と日本人観光客がほとんど来ない台中谷関温泉で、日本時代理蕃政策中の一事件の記録が、85年間こんな形で台湾政府の古物としてこつそり残っている。

こんな訳で日治時代の弔魂碑を巡る旅は今回で終了した。上記関係者には大変お世話になりました。

丁一戦死ス。そのため26、27日と滞在することになったようだ。後に原猪治警部補は死亡に至る。

日本で台湾協会等を訪問し資料を集めている。原住民から銃器を回収したのである。午後7時に突然の電話報告「隊ノ最前線ニ

在リタル第一部隊ニ敵蕃襲来シ部隊長原警部重傷巡查補一、蕃

丁一戦死ス」。そのため26、27日と滞在することになったようだ。後に原猪治警部補は死亡に至る。

日本人観光客がほとんど来ない台中谷関温泉で、日本時代理蕃政策中の一事件の記録が、85年間こんな形で台湾政府の古物としてこつそり残っている。

こんな訳で日治時代の弔魂碑を巡る旅は今回で終了した。上記関係者には大変お世話になりました。

見て
来ました

瀋陽・長春の大学病院・医療事情

村田嘉明（会員）

中国東北部「一人旅」は中國の旧友との再会である。瀋陽では昨年、11月国際善隣協会が招聘した中国医科大学医学学生との

再会、長春では2年振りの友人ととの再会である。瀋陽と長春を

高速鉄道動車組で往復した。6

／26～7／2（7日間）旅行初

日ANAで瀋陽に飛び、瀋陽桃

山空港・到着ロビーで医大5年

生（庄さん、蘇さん）の出迎え

を受け、瀋陽中心部「太原街」

のホテルへ移動した。翌日ホテ

ルから医大生2人と徒歩で大学

キャンパスに着き、広大な大学

病院の各外来診療科を見学した。

病院正面入口からエスカレーター

やエレベーターを利用し外来科

に移動。日本の大学病院や総合

病院と比較し規模の大きさや外

来患者の多さに圧倒され、中国

「井岡山」（せいこうさん）（湖

南省境）の革命根拠地が始まり

その後、昼食を学生食堂で取り、

珈琲ルームで小休止。そのとき、

瀋陽新区のNEWキャンバスか

ら国際交流処弁公室副主任・劉

佳女士が来訪し再会した。同女

士は昨年11月さくらサイエンス

プラン訪日団の団長で日本に留

学経験がある親日家である。大

学教室に移動し、訪日団学生の

内、本年1月～2月に1か月間・

臨床実習（東京女子医大、順天

堂大、札幌医大）のため再訪日

した学生の「臨床実習宣講会」

が開催され見学した。専門の臨

床科以外の日本の感想、風土、

食事などをパワーポイントで発

表した。中国医大100年の歴

史は古く、元は1930年代、

中国工農軍医学校、中国江西省

瀋陽・長春の大学病院・医療事情

就職する。大学院に進学する学

生は修士号取得後、大都市の病

院の医師となるコースである。

中国医大（盛京病院も）近くに

あるホテルに泊まり、遼寧省各

地の田舎から患者が集まり、殺

到する現実があり、大病院の優

秀な医師の診察を受ける。

前述の「臨床実習宣講会」を

途中退席し、庄さんと蘇さんと

NEWキャンバスに移動するた

め地下鉄「太原街」に向かう。

2号線「青年大街」で乗換「航

空航天大学」終点で下車、タク

シーでNEWキャンバスに到着。

N

E

W

キャンパスは瀋陽市内か

ら約25キロの田園地帯にあり開

校から5年の中新しい校舎群で

ある。医学部1年～4年生が学

ぶ最新設備が整った校舎群で学

生寮の豪華さに驚いた。図書館

16階からの眺望は「素晴らしい」

の一語につきる。

の旧友との再会である。瀋陽では昨年、11月国際善隣協会が招聘した中国医科大学医学学生との再会、長春では2年振りの友人ととの再会である。瀋陽と長春を高速鉄道動車組で往復した。6／26～7／2（7日間）旅行初日ANAで瀋陽に飛び、瀋陽桃山空港・到着ロビーで医大5年生（庄さん、蘇さん）の出迎えを受け、瀋陽中心部「太原街」のホテルへ移動した。翌日ホテルから医大生2人と徒歩で大学病院の各外来診療科を見学した。

病院正面入口からエスカレーターやエレベーターを利用して外来科に移動。日本の大学病院や総合病院と比較し規模の大きさや外來患者の多さに圧倒され、中国

「井岡山」（せいこうさん）（湖南省境）の革命根拠地が始まりその後、昼食を学生食堂で取り、珈琲ルームで小休止。そのとき、瀋陽新区のNEWキャンバスから国後に瀋陽で開校した。

昨年訪日した中国医大生は医学部入学から日本語教材で医学教育を受け、日本語で授業を受ける中国唯一の医大の学生である。私が訪問した6／27は卒業式で中国医大も6／28が卒業式であるが訪日団の学生は卒業式に参加せず、9月から大学院修士課程（3年間）に進学した学生の「臨床実習宣講会」が開催され見学した。専門の臨床科以外の日本の感想、風土、

食事などをパワーポイントで発表した。中国医大100年の歴史は古く、元は1930年代、

中国工農軍医学校、中国江西省瀋陽・長春の大学病院・医療事情

就職する。大学院に進学する学

生は修士号取得後、大都市の病

院の医師となるコースである。

中国医大（盛京病院も）近くに

あるホテルに泊まり、遼寧省各地の田舎から患者が集まり、殺

到する現実があり、大病院の優秀な医師の診察を受ける。

前述の「臨床実習宣講会」を

途中退席し、庄さんと蘇さんと

NEWキャンバスに移動するた

め地下鉄「太原街」に向かう。

2号線「青年大街」で乗換「航

空航天大学」終点で下車、タク

シーでNEWキャンバスに到着。

N

E

W

キャンパスは瀋陽市内か

ら約25キロの田園地帯にあり開

校から5年の中新しい校舎群で

ある。医学部1年～4年生が学

ぶ最新設備が整った校舎群で学

生寮の豪華さに驚いた。図書館

16階からの眺望は「素晴らしい」

の一語につきる。

旅程3日目 濱江之星「長春汽貿城」店に着

の旧友との再会である。瀋陽では昨年、11月国際善隣協会が招聘した中国医科大学医学学生との再会、長春では2年振りの友人ととの再会である。瀋陽と長春を高速鉄道動車組で往復した。6／26～7／2（7日間）旅行初日ANAで瀋陽に飛び、瀋陽桃山空港・到着ロビーで医大5年生（庄さん、蘇さん）の出迎えを受け、瀋陽中心部「太原街」のホテルへ移動した。翌日ホテルから医大生2人と徒歩で大学病院の各外来診療科を見学した。

病院正面入口からエスカレーターやエレベーターを利用して外来科に移動。日本の大学病院や総合病院と比較し規模の大きさや外來患者の多さに圧倒され、中国

「井岡山」（せいこうさん）（湖南省境）の革命根拠地が始まりその後、昼食を学生食堂で取り、珈琲ルームで小休止。そのとき、瀋陽新区のNEWキャンバスから国後に瀋陽で開校した。

昨年訪日した中国医大生は医学部入学から日本語教材で医学

教育を受け、日本語で授業を受ける中国唯一の医大の学生である。

私が訪問した6／27は卒業式で中国医大も6／28が卒業式であるが訪日団の学生は卒業式に参加せず、9月から大学院修士課程（3年間）に進学した学生の「臨床実習宣講会」が開催され見学した。専門の臨床科以外の日本の感想、風土、

食事などをパワーポイントで発表した。中国医大100年の歴史は古く、元は1930年代、

中国工農軍医学校、中国江西省瀋陽・長春の大学病院・医療事情

就職する。大学院に進学する学

生は修士号取得後、大都市の病

院の医師となるコースである。

中国医大（盛京病院も）近くに

あるホテルに泊まり、遼寧省各地の田舎から患者が集まり、殺

到する現実があり、大病院の優秀な医師の診察を受ける。

前述の「臨床実習宣講会」を

途中退席し、庄さんと蘇さんと

NEWキャンバスに移動するた

め地下鉄「太原街」に向かう。

2号線「青年大街」で乗換「航

空航天大学」終点で下車、タク

シーでNEWキャンバスに到着。

N

E

W

キャンパスは瀋陽市内か

ら約25キロの田園地帯にあり開

校から5年の中新しい校舎群で

ある。医学部1年～4年生が学

ぶ最新設備が整った校舎群で学

生寮の豪華さに驚いた。図書館

16階からの眺望は「素晴らしい」

の一語につきる。

旅程3日目 濱江之星「長春汽貿城」店に着

て来ました

瀋陽・長春の大学病院・医療事情

就職する。大学院に進学する学

生は修士号取得後、大都市の病

院の医師となるコースである。

中国医大（盛京病院も）近くに

あるホテルに泊まり、遼寧省各

地の田舎から患者が集まり、殺

到する現実があり、大病院の優

秀な医師の診察を受ける。

前述の「臨床実習宣講会」を

途中退席し、庄さんと蘇さんと

NEWキャンバスに移動するた

め地下鉄「太原街」に向かう。

2号線「青年大街」で乗換「航

空航天大学」終点で下車、タク

シーでNEWキャンバスに到着。

N

E

W

キャンパスは瀋陽市内か

ら約25キロの田園地帯にあり開

校から5年の中新しい校舎群で

ある。医学部1年～4年生が学

ぶ最新設備が整った校舎群で学

生寮の豪華さに驚いた。図書館

16階からの眺望は「素晴らしい」

の一語につきる。

旅程3日目 濱江之星「長春汽貿城」店に着

て来ました

瀋陽・長春の大学病院・医療事情

就職する。大学院に進学する学

生は修士号取得後、大都市の病

院の医師となるコースである。

中国医大（盛京病院も）近くに

あるホテルに泊まり、遼寧省各

地の田舎から患者が集まり、殺

到する現実があり、大病院の優

秀な医師の診察を受ける。

前述の「臨床実習宣講会」を

途中退席し、庄さんと蘇さんと

NEWキャンバスに移動するた

め地下鉄「太原街」に向かう。

2号線「青年大街」で乗換「航

空航天大学」終点で下車、タク

シーでNEWキャンバスに到着。

N

E

W

キャンパスは瀋陽市内か

ら約25キロの田園地帯にあり開

校から5年の中新しい校舎群で

ある。医学部1年～4年生が学

ぶ最新設備が整った校舎群で学

生寮の豪華さに驚いた。図書館

16階からの眺望は「素晴らしい」

の一語につきる。

旅程3日目 濱江之星「長春汽貿城」店に着

て来ました

瀋陽・長春の大学病院・医療事情

就職する。大学院に進学する学

生は修士号取得後、大都市の病

院の医師となるコースである。

中国医大（盛京病院も）近くに

あるホテルに泊まり、遼寧省各

地の田舎から患者が集まり、殺

到する現実があり、大病院の優

秀な医師の診察を受ける。

前述の「臨床実習宣講会」を

途中退席し、庄さんと蘇さんと

NEWキャンバスに移動するた

め地下鉄「太原街」に向かう。

2号線「青年大街」で乗換「航

空航天大学」終点で下車、タク

シーでNEWキャンバスに到着。

N

E

W

キャンパスは瀋陽市内か

ら約25キロの田園地帯にあり開

校から5年の中新しい校舎群で

ある。医学部1年～4年生が学

ぶ最新設備が整った校舎群で学

生寮の豪華さに驚いた。図書館

16階からの眺望は「素晴らしい」

の一語につきる。

旅程3日目 濱江之星「長春汽貿城」店に着

て来ました

瀋陽・長春の大学病院・医療事情

就職する。大学院に進学する学

生は修士号取得後、大都市の病

院の医師となるコースである。

中国医大（盛京病院も）近くに

あるホテルに泊まり、遼寧省各

地の田舎から患者が集まり、殺

到する現実があり、大病院の優

秀な医師の診察を受ける。

前述の「臨床実習宣講会」を

途中退席し、庄さんと蘇さんと

NEWキャンバスに移動するた

め地下鉄「太原街」に向かう。

2号線「青年大街」で乗換「航

空航天大学」終点で下車、タク

シーでNEWキャンバスに到着。

N

E

W

キャンパスは瀋陽市内か

ら約25キロの田園地帯にあり開

校から5年の中新しい校舎群で

ある。医学部1年～4年生が学

ぶ最新設備が整った校舎群で学

生寮の豪華さに驚いた。図書館

16階からの眺望は「素晴らしい」

の一語につきる。

旅程3日目 濱江之星「長春汽貿城」店に着

て来ました

瀋陽・長春の大学病院・医療事情

就職する。大学院に進学する学

きチエックインする。夕食はホテルに近い長春中心部の王さん宅に招待され哈爾浜啤酒で乾杯し、夫人手作りの料理を堪能した。2年前に自宅訪問したときは70平方米の賃貸マンションから146平方米の広い分譲マンションに転居していた。駐車場もマンション敷地内。

4日目 上海路の旧居跡、大型書店・聯合書城訪問。

5日目 吉林大学第一病院訪問。

この病院はカナダ人外科医ベチャーンを記念した白求恩医科大学が前身で旧満州国にあったことから日本語で医学教育をしていた。しかし同医大が吉林大学に統合されてから日本語の医学教育は終了した。この病院も吉林省最大の病院で省内から沢山の患者が殺到し受診している。

* 1930年代、毛沢東の长征で紅軍の軍医として貢献したカナダ人医師、吉林大第一病院の玄関にベチャーンの銅像がある。中国の国民的英雄。

午後6時に医大生・庄さん（整形外科）、蘇さん（神経内科）、盛さん（耳鼻咽喉科）3人がホテルに集合し、瀋陽の繁華街「小我皇港式餐厅」に行き、広東料理で中国最後の夕食会で交流した。3人は昨年11月30日、国際善隣協会での交流会で中国医科大学をパワーポイントで紹介、発表した学生である。

7日目 ANA機10時20分発で帰国した。庄さん、蘇さん、李さん見送りありがとう。

中国医大と日本の医大との交流関係があり、今後も留学などで再訪日の機会があり、今後も日中友好に注力したい。

本稿関連記事は八島継男氏執筆の本年「善隣」7月号17頁（22頁）を参照されたい。

刻に着く。医大生蘇さんが駅南口で出迎え、ホテルに移動、チェックインした。



講堂：満州医大からの建物



中国医科大学正門前（左：庄さん、右：蘇さん）



中国医科大学病院1階ロビー



中国医科大学100年の歴史 & 革命進軍MAP

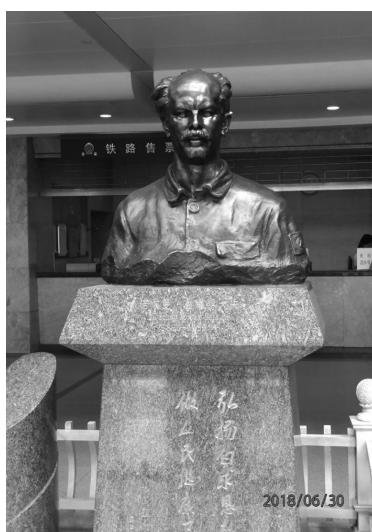
6日目 高鉄動車組D20長春発11時23分発→瀋陽北13時06分定



NEWキャンパス 体育館&実験棟



中国工農紅軍軍医学校：井岡山（せいこうさん）



ベチューン

カナダ人外科医：1930年代「紅軍」
で医療に貢献した国民の英雄

25F	急救中心	信息中心
24F	神经创伤外科	整形美容-创伤修复外科
23F	创伤骨科	整形美容-创伤修复外科
22F	耳鼻咽喉-头颈外科	
21F	手足外科	泌尿外一科
20F	神经外科ICU	眼科
19F	神经肿瘤外科	神经血管病外科
17F	肿瘤妇科 普通妇一科	普通妇二科 生殖妇科
16F	乳腺外科	甲状腺外科
15F	脊柱外科	骨关节外科 运动医学科
14F	肝胆胰内科	胃肠内科
13F	胃结直肠肛门外科	
12F	肝胆胰外科	
11F	泌尿外二科	肾病科
10F	胸外科	血液净化中心
9F	新生儿科	产科
8F	麻醉科	苏醒室
7F	手术室	
6F	ICU	临床病理诊断中心

外来診療科案内板（中国医科大学第一病院）



中国医科大学看護科卒業記念写真 ガウン姿



吉林大学 白求恩第一病院



文化広場（旧満州国地質院）

是員彼会

五合庵

建国大学第5期生 佐藤善一（会員）

1796年（寛政8年）39歳の良寛は、諸国行脚の旅を終えて、故郷越後に帰ってきた。国上山近在の村々を転々としながら、翌年40歳で国上山、中腹にある国上寺の五合庵に定住し、これより20年間の長きにわたり、この五合庵に住まつ人となつた。

策策たり五合庵

實に懸磬の然るが如し

戸外竹一叢

壁上偈幾篇

釜中時に塵有り

竈裏更に烟無し

唯だ東村の奥有りて
仍に敲く月下の門

いざこゝに、我が身は老いん

あしひきの国上の山の松の下庵

これからのお先を、この地に埋めよつとする悲壮なまでの決意がこめら

れた良寛の歌である。

五合庵は国上寺の中興の祖といわれた万元惠海という和尚の晩年隱棲の地で、一日五合の米だけの簡素な生活をしていたことにちなんべんそう呼ばれていたという。

五合庵に私が訪ねたのは初秋の午後の日であった。降るような蝉の声を浴びながら、人に案内されて国上寺から、うす暗い程の杉の木立の中のダラダラ坂を下ると、ふと右側に急に視界が広け、そこに百坪ばかりの平地があつて、五合庵の茅葺きが静かに建っていた。

私は老杉の下に佇んで、ゆっくりこの簡素な茶室風の小さな茅葺きと相対したことを忘れることができない。

良寛はここで20もの歳月を過ごした。深山幽谷のわび住まいといつけれども、冬の厳しい寒さに耐え、雨雪の嵐の烈しい夜の孤独や寂寞に苦しんだことだろう。そういえば良寛の詩の中

には、雪や、雨の夜をうたつた詩が多い。食べものは托鉢でえた最低の生活だった。これを正に、自分の生命を極限までさらした命がけの求道一筋の生活であったわけである。無限に流れる時間、無限に広がる空間を真に実感し、それに自らの存在をおいて人間の生き方を追いつめた極限ギリギリの生活だったに違いない。

生涯瀬立身 生涯身を立つるに瀬し
膳々任天真 膳々天真に任す
いめぐらし一時を過ごした。
となる。求道とは、そうしたものだとい。食べものは托鉢でえた最低の生活だった。これを正に、自分の生命を極限までさらした命がけの求道一筋の生き方を、私は私なりに思

誰問迷悟跡 誰か問わん迷悟の跡
何知名利塵 何ぞ知らん名利の塵
夜雨草庵裡 夜雨草庵の裡
双脚等閒伸 双脚等間に伸ばす
双脚等閒伸 双脚等間に伸ばす
この詩はそうした悟りの上に立つた
正しく良寛の実人生の実感で、良寛の詩の中で最も有名な詩であり、この詩に良寛という人間のエキスが凝集されつくりしておると私は思つ。

第一にすべてを抛つた無欲、無所
有の心根とシンプルな最低生活
第二に天地の中におかれの自らの命と自然との合体

そして、
沫雪の中にたちたる三千大千世界
またその中に沫雪を降る
大空から降り来る沫雪を眺めて、宇宙の果てしない神秘な広がりを夢想した。そして、自らの生命も、こうしたことを行つたことを忘れることができない。

第三にそれによつて得られた自らの充実した心の自由平和な状態

ここに良寛が生涯求めつけたものではなかつたか。五合庵の辛苦20年の修行は良寛を極限まで純化しないて生きるとき、初めて眞の純粹な人間と思つ。

草の庵に足さしのべて小山田
山田のかはづ聞くがたのしき
むらきもの心楽しも春の日に
鳥のむらがり遊ぶをみれば
これらの歌は、正に求道によつて、
人間純化の極に達し得た人にして初め
てよめる自然との融合の歌というべき
であろうか。

良寛は、この五合庵より、しばしば
村里に托鉢に出かけて山を下つた。つ
らかつた冬を漸く過ごし春を迎えたと
きの良寛は、待ち切れずして里に出か
けて行つたことだろう。

この春に手まりつきつゝ子供らと
遊ぶ春日は暮れどともよし

それで里人から仕事もせんと遊んで
ばかり暮す糞坊主めど、白い目で見つ
れたかも知れない。

我打てば、渠且つ歌い

我歌えば、彼之を打つ

打ち去り、又打ち来る

時刻の移るを知らず

行人我を顧て咲い

何に因つてか其れ斯くの如きと
頭を低れて、伊に応えず

道い得ても也た何似ぞ
箇中の意を知らん要せば

元来祇だ這是れ

良寛は、私はただ頭を下げるばかり
で答えない。答えるも、本当の氣
持ちが伝わるものか。ただ、だまつて
手まりをつくだけだ。手まりをつくの
も座禅そのものの境地だ。純粹人間の
自然になせる遊戯の境地とでもいわな
ければならない。

今日、良寛について、解良栄重とい
う人の書き残した『良寛禪師奇話』と
いう原本が、新潟県分水町の解良家に
現存しておるという。それには良寛の
人柄について次のように伝えておる。

「師、余方家ニ信宿日ヲ重ヌ。上下
自ラ和睦シ、和気家ニ充チ、帰去ス
ルト云ドモ、數日ノ内人自ラ和ス。
師ト語ルコト一タスレバ、胸襟清キ
コトヲ覺ユ。師更ニ内外ノ經乂ヲ説
キ、善ヲ勧ムルニモアラズ。或ハ厨
下ニツキテ火ヲ焼キ、或ハ正堂ニ座
禪ス。」

其話、詩文ニワタラズ、道義ニ不
及、優游トシテ名状スベキコトナシ。
只道德ノ人ヲ化スルノミ。」

良寛の完成された人柄や、資質や人
間性は如何に人々を無為のうちに化し
て、それが我々に喪ったものを呼びさ
ますキッカケとなる確かなものがある
からであろう。飽食の時代といふけれ
ど、利便と快活さのかげに、最近の世
相は、まことに殺伐、不確実、不安な
時代となつてゐる。我々は、ここで立
ち止まつて、もう一度人間の「生」に

が「読者が選ぶ日本の50傑」という企
画を打ち出し実施したことがある。そ
の中に、徳川家康、豊臣秀吉、織田信
長、福沢諭吉、坂本龍馬等々、日本歴
史の中の著名な人々と共に、親鸞、日
蓮、弘法大師、道元、などと並んで良
寛が選ばれていたことをある本が紹介
していた。以来30年、今日良寛研究が
愈々進み、多くの本が世に出て、正に
汗牛充棟の有様で大ブームを巻きおこ
している。いわば一介の越後の寒村に
生まれた田舎坊主良寛が何故これ程、
今日の日本人の関心を呼んで多くの尊
敬を集めているのだろうか。私には不
思議でならない。これは何故だろ?が、
やはり我々は、良寛という人間や生涯
から我々の心にふれる何かを感じさせ
られ、それが不思議に、我々のこころ
に感銘と共感を呼ぶ何かがあるからに
外ならない。良寛の詩や、歌や、書に
は今の時代が喪失しておる何かがあつ
て、それが我々に喪ったものを呼びさ
ますキッカケとなる確かなものがある
からであろう。飽食の時代といふけれ
ど、利便と快活さのかげに、最近の世
相は、まことに殺伐、不確実、不安な
時代となつてゐる。我々は、ここで立
ち止まつて、もう一度人間の「生」に

ついて根本的な見直しをする時期に來
ているのかも知れない。極貧の中につ
ても、自ら充分に生のよろこびにひた
り、自由に、伸び伸びと生きた晩年の
良寛の生き方が、現代の渴きにも似た
こうした我々の要求に何らかの示唆を
与えてくれると思われるからに外なら
ない。

私はこうした思いで、本稿をまとめ
た。質素で、善意で、心にやさしさや
豊かさを持つ日本及び、日本人の復活
を願いながら。

(注) 本稿は建国大学7期生会誌『朋
友們』第10号に依頼されて掲載した
ものである。従つて読者は限られて
おり、このまま埋もれさせてしまつ
るのは惜しいと考え、敢えて「善隣」
誌に取り上げてもらい多くの会員の
方々にお読み頂きたいと存じるもの
である。日本人にとって「良寛」と
は何者であるかを理解して頂ければ
今日の不確実の時代を乗り切るいくら
かの参考になると思つ。(平成30年5
月 筆者)

[写真表4に掲載]

中國 ウオウチング



編・訳 上松玲子

山村の青少年とスマホ

夏休みなのに広東省潮州市の山村の小学校は男子の歓声で賑やかだ。教室の前で5年生の小峰が友達とネットゲームで対戦している。学校は通信環境がないからだ。小峰の両親は広州市へ出稼ぎに行っている。今年の正月に両親に強くせがんで買ってもらった携帯電話を見せて「学校では携帯を持っている者が一番偉いんだ」と得意げだ。農山村地区では放課後や休日も、携帯電話を手放せない児童

の姿が目立つ。時には校内で、インターネットゲームや動画視聴に興じる。小峰自身自制できないことを認めている。同居する祖父母が寝た後、少しのつもりが徹夜をすることがある。ゲームには毎日任務があり、すればするほどポイントが上がる。父親の身分証でアカウント登録をしているため、未成年者用の制限もかからない。当然授業には身が入らず成績は急降下した。

広東省で貧困地区支援教師をする許さんは、山村の子どもの遊びは原始的で純朴なものだと思い込んでいたが、クラス16名中15名が自分の携帯電話を持ち、中には教師より高機能の機種で最新のゲームを楽しむ子どもがいることに驚いた。「恐らく、長期に家をあけてかまつてあげられない罪悪感から甘やかすのだろう。特に男子は」と言う。

安徽省のある郷鎮でも、6歳の小希が朝食中、母親のおさがりのスマホでゲームをしている。母親は工場勤務。午後の勤務を

終えると幼稚園に迎えに来るが、そのまま義理の妹に小希を預け夜勤に向かう。叔母の家では、時には泣きながら、ひっきりなしにスマホをせがむ。

中学1年の張くんはゲームが我慢できなくなると、「ネット通販で服が買いたい」「注文した服が届かない」などと口実をつけて母親のスマホを借りる。借りたら最後、部屋に籠り一晩中対戦ゲームに興じる。宿題は朝出掛けに適当に終わらせる。成績は中位に落ちた。母親は担任教師にこう言われた。「家で親御さんが管理できないようでは私共にはどうしようもない」と。

蘇さんは大学生で支援教師をしている。教え子の1人、小新は四川省内江市高鎮の山村生まれの11歳。授業の合間の子どもたちとの会話は、ほとんどがスマホゲームの話題であることに落胆を覚えた。「先生もできるの」とゲームの話になると勉強はそっちのけだ。小新はスマホがない

以上も使っているようだ。河南省濮陽市のある村の小明はまだ小学3年生で重度の近視だ。出稼ぎに行った両親は連絡用にと携帯電話を与えたが、孫は一日中ゲームをしていてお手が届かない」と言つた。母親のスマホを借りる。借りたら最後、部屋に籠り一晩中対戦ゲームに興じる。宿題は朝出掛けに適当に終わらせる。成績は中位に落ちた。母親は担任教師にこう言われた。「家で親御さんが管理できないようでは私共にはどうしようもない」と。

安徽省肥東県店埠鎮の農村留守儿童保護専門員の金さんは、山村に残された児童の文化、体育活動への参加を促すこと、保護者が子どもと過ごす時間を増やすことが大切だと指摘した。

（中国青年報）2018年7月27日

虚偽の訴えの目的は

目下、党、政府の各レベルで規律審査、監察が行われている。陳情や通報（原文「信訪」「举报」）制度が多く問題発覚の端緒になっている一方で、虚偽の告発が度々行われている。

一つは監察官の関心を引くため、地元の幹部や指導者を問

内容は土地の移転をめぐる利害の対立、労働争議、問題解決の遅れなどなのだが、指導者が市民を騙し、迫害しているという図式にすりかえられている。

次に事実でないことや、小さな事実から推測に基づいたあらじを展開したもの。さらには個人攻撃を目的とした悪意のある誹謗中傷で、これは人事異動の時期に多く、同じ内容のものが何度も投書される傾向にある。

多くは匿名であるか、別の幹部の名前を使っている。争いや分断を狙っているのだ。
 (『中国紀檢監察報』2018年8月9日)

幹部公務員の天下り

中国共産党中央規律委員会、國家観察委員会のホームページで、第十四巡視グループの商務部での巡視結果として「人選に問題が多く、日常の監督管理業務に希薄な部分があり、幹部の流失が顕著、基層の党建設事業に力が入っていない」と報告された。今回の巡視において幹部の流失が明確に問題視されたの

は初めてだ。

商務部が公布する辞職、雇用解除名簿によれば、2008年から2017年までに累計で152名が辞職した。特に2014年以降の3年は今までになく多い。

山東省党校、党建教育研究室の訳副主任は、現代の公務員の辞職について従来と異なる2つの特徴があると見ている。1つは辞職者の職位が高く、以前は科長クラスまでだった退職者が、局や庁の幹部クラスも含まれること。もう1つは辞職後の行き先が多元化していることだ。

国営企業の執行責任者になる者や、民間企業に入る者、起業する者、執筆や絵画の道を選ぶ者もいる。

先頃メディアが報じた元商務部の官僚の退職後の行方はほとんどが企業への再就職で、アリババやテンセントなどの有名企業の高級幹部になることも珍しくない。そして辞職後の職位は

国家公務員の人材流失については近年関連部門も高い関心を示している。昨年5月中央の4部門は共同で『公務員の退職後の就業に関する意見』を発布、国家行政学院の汪教授はこの規定は権力濫用に対する監督と抑制作用を果たすものになるだろうと述べた。

(『中国經濟週刊』2018年8月14日)

美容整形夏休みに殺到

毎年6月から8月の夏休みは学生を中心に行き先が多様化している。毎年6月から8月の夏休みは美容整形のかき入れ時だが、同時に失敗数も増える。ある病院では、他病院での美容整形施術に失敗して修復に訪れる患者が普段は週1人か2人なのだが、この時期は週5、6人も来るという。

その1人23歳の林さん、大学を卒業し金融会社に入り、実習中という。「友人たちは夏休みに鼻や瞼を整形する人が多い。この1か月の実習の過程で、顔がどれだけ物を言うものか思い知った」のだそうだ。そこで彼女もプチ整形を試みたが、瞼が

割れて出血し、感染症を起こしてしまい、天河北路の専門の病院に助けを求めて来たのだ。費用をかけて自分の身体を傷つけられ、林さんは戸惑っている。「今年は夏休み期間中20例以上修復が必要な患者を診たが、合併症も緊急性が高く重度のものが増えていて」と同病院の医師も感じている。

社会の美容整形に対する許容度は年々高くなっている。二重瞼手術や痩身針などは、もはや隠すことでもなくなっている。多くの学生が美について深く考えもせず、医学知識もなく、ただ、アイドルやインターネットの情報や友人の影響で気軽に整形をして、結果失敗している。広東省医学美容協会の李常務理事はこのように指摘すると同時に、施術前に家族に相談することや、むやみに流行に乗らないこと、安さに走らず、正規の病院や経験のある医師を選ぶことを勧めている。そうではないと一生の後悔につながると。

(『広州日報』2018年8月23日)

コラム

腰折れ文

十四、

渡邊澄子（会員）

私にとって、前回（十三）を書いた以後の最大事件は翁長知事の急逝だった。購読している『琉球新報』の毎週土曜日掲載の佐藤優の「ウチナー評論」は愛読欄だが、八月四日の「沖縄人の矜持—翁長は知事選出馬を」には、翁長知事が、南北・米朝首脳会談をはじめとして国際情勢に変化の見られる現況下で、二〇年以上も前の決定による辺野古基地建設は見直されるべきであるのに、それを推し進める政府の姿勢は、「平和を求める大きな流れからも取り残されている」と、沖縄に対する構造的差別は正を言葉鋭く政府に迫つたらしいことが書かれていた。「イデオロギーではなくアイデンティティ」の信念から沖縄のために「文字通り命を差し出すつもり」の翁長氏が、健康不安を抱えていることは知っているが知事選に出馬してほしい、「全ての沖縄人の利益を代表できるのは翁長雄志しか

いない」とも。退院直後の写真で見た翁長氏はやつれて痛々しげだったが、「辺野古海域の埋め立てを强行すれば、人類共通の財産を地球上から消滅させた壮大な愚行として語り継がれ」るだろうと政府批判したその顔は、覇気に満ちていたので、佐藤氏に同調していたのだが、本当は大変な苦痛に耐えていらしたのだろう。周囲がもっとと容体に留意すべきだったので、は、と思つたりしたが驚愕の急逝だった。涙がこぼれた。没後の十一日、辺野古移設反対の「県民大会」は翁長知事追悼ムードに包まれて七万人の大集会となつた。

思いやり予算やオスプレイ配備の地の拡大化、高値の言い値で買う武器等々アメリカべつたりの安倍政権と眞逆に沖縄県民のために命をかけた翁長知事の死を受け容れがたく、七万人の一人にはなれなかつたが追悼の記帳に行つた。記帳は初めての体験。私の不正入試・女性差別、受験生の親

の後に続いて入つてきたのが若いカツブルだったことは私を感じさせた。本も新聞も読まず、知性低落を加速させている若年層を批判してきたが、こういう若者もいたことに興奮した。

天皇退位、新天皇即位行事には憲法違反が見られる。問題視する学者はいないのか。八月十五日の終戦記念日の戦没者追悼式で天皇は、「過去を顧み、深い反省」を表明されたが、安倍首相は「加害」への「反省」もなく、「未来志向」を強調したが、彼の目指す未来とは、自衛隊を堂々の軍隊にし、莫大な借金を国民に押し置き去りその他原爆問題、原発被災者問題のみならず「負」の歴史は未解決のままなのに。

首相夫妻を守つて局長に昇進した佐川氏の文書改竄容疑は不起訴となり、文科省幹部の一年半に二十回超の接待とか、省庁の「障害者雇用」の水増しその他、民間でも東京医大の不正入試・女性差別、受験生の親

からの接待や多額の寄付には唖然としたが、日大のアメフトはじめのスポーツ界、議員の「生産性」発言は批判の言葉に窮する。うやむやにしてはならぬモリ・カケ問題を一表徴とするトップの欺瞞、隠蔽に續けとばかりの閣僚の暴言・失言に責任をとらずにスル一可能を知った官僚の腐敗、堕落ぶりは目に余る。「政府と自民党に広がる『差別』と『うそ』。その感染爆発に歯止めがかからない。根底に最高権力者の体質はないか」（18・8・6『東京新聞』）は穿った見方で、上が上なら下も下はまさに感染爆発だが、この一文が掲載される頃には安倍三選が決まっているだろうと思うと辛い。もう、ご退場願いたいのに。一党的領袖が全國民の長になる制度はおかしいと思う。国民の多数の意思とは反対の行政になるとしたら理不尽ではないか。西日本豪雨で甚大な被害が出た時、首相を囲んで議員宿舎の「自民亭」で賑やかに宴会がひらかれていた。猛暑の連日、料金滞納で電気を止められた六〇代女性が亡くなつたというニュースに彼らは目を止めただろつか。怒りが哀しみになる」と多い昨今である。

陶々俳壇

選後評

馬場由紀子

兼題「桐一葉」「薄」

被災地をまた颶風の襲ひけり
失言を汗ふきながら薄笑ひ

柳原仁哉
" " "

銀漢に冷酒飲んで人を恋ふ
ひと味もちがふ肌かな新豆腐

佐藤若杉
" " "

夏便り暫しの涼を運び来ぬ（まもる）
○夏場所や終りてテレビ空々し

長野宏太
" " "

☆○今生の別れと森の蝉しぐれ（善一）
風鈴の音を道づれに風去りぬ（仁哉）

岡和水
" " "

○猛暑なれど忘れぬ妻の薄化粧（若杉）
曇天に一息つけりつくつくし

戸部まもる
" " "

○桐一葉お菓子の名前忘れけり（由紀子）
美瑛丘陵ひと色の大花野

上野京
" " "

老ガイド疲れ着莫薙をまとひをり
いつまでも眠れる若さ夏休み

大内善一
" " "

雇顔や蔓はむなしく宙に浮き
川開き岸の桟敷の紅提灯

橋本紅杓
" " "

舟頭の訛やさしや桐一葉（紅杓）
☆最高点 ○由紀子選

馬場由紀子
" " "

俳句道づれ

岡 和良（和水）

桐一葉今や驚くこともなし
若杉

大戦を果敢切り抜け、敗戦の日本を今日までに導かれたお一人である作者にとって、現在の政治の蜜行も社会の不穏も、もはや驚くに値するものではない。ただだ、静かに見守っていらっしゃる。

麻のれん分け入り待ちし人と酌む 善一
糀な小料理屋で眞理せらる 酒も肴も旨そうだ。若い時は春みながらの密談をされたあつう者がだが、今では氣のおけない友と樂じて酌み交わす日々である。地酒も充分に揃っているのだろう。

おほけなく狹庭に戦ぐ薄かな 宏太
立秋も過ぎ、吹く風にも秋の氣配を感じられるようになつた。我が家のか小さな庭にはすでに薄が穂を出している。無遠慮に蔓る薄だが、風にそよぐ様は無聊を感めてくれる。

鱗めく椎の木肌や苔の花 紅杓
何百年もの椎の古木は、恐然がゴジラかとワクワクさせられる鱗

めいた樹皮をもつ。そこには神聖な不盡が棲んでゐるはずだ。大木を裝つように苔の花が咲いている。

買ひ苗より種子を育てし茄子愛す まもる
氣持ちがよくなつていい句である。「から育てたものは、例え

至ても美味いに違いない。暑い最中に育てた茄子だけに苦勞も多く、寒がなければ愛おしさもひとしおである。

知らぬ間に熱中症にかかりけり 仁哉
今年の夏は、殺人の暑さが続いた。重症熱症にかかるらず誰もが熱中症の症状に見舞われたのではないか。熱中症の厄介などいろは自覚症状に乏しいといつて、気づいたら大変なことに、という話を今年はよく聞いた。

散策して、自然や花や蝶などを季節や 天候の変化も織り込みながら、きめ細かく観察する。そして研ぎすました感受性によつて、潜在的なものも含め、見えるものが見え、聞こえるものが聞こえ、肌や心に感じられるものが感じられる。

そしてそれらをうまく組み合わせて、人の心に響き、人の心を搖さぶるような俳句が、生まれるのでなかろうか。未熟な私は、さまよいながら「俳句道づれ」の古いの坂道を、ゆっくり歩み続

さまよひし放心の道終戦忌 和水
今年の夏は夜も気温が下がらずエアコンがはなせなかつた。立秋を過ぎて漸く朝夕の涼しさを覚えるようになり、やつと夕涼みを楽しめる季節がやってきたのだ。

終戦時、作者は士官学校の学生だった。山の中の宿舎から夜陰に乘じ自家を目指したと聞いて、明かりのない山道と戦後の混亂における命の危機に対する、若かりし頃の作者の怖れは計り知れない。

中日会通

◆全国戦没者追悼式へ出席

8月15日、日本武道館で「全国戦没者追悼式」が挙行され、当協会から矢野一彌会長他2名が出席した。式典は11時51分開式、天皇皇后両陛下ご臨席、国歌斉唱、内閣総理大臣の式辞の後、正午を合図に1分間の黙祷、天皇陛下のおことばと続き、例年通り関係者の追悼の辞、献花が長く続いた後無事閉式となつた。出席者は総勢6500名であった。

◆内蒙古自治区科学技術庁 訪日団が来協会

8月28日～9月1日の5日間、中華人民共和国内蒙自治区科学技術庁所管の17名が、当協会を窓口として日本を訪問した。訪日団の内訳は、職員3名、内蒙工業大学3名、内蒙医科大学5名、農業大学2名、その他4名で、男女別では男性10名、女性7名で、ほぼ全員が訪日は初めてである。今回は内モンゴル自治区政府からの応募であり、自治区の科学技術振興のため若手行政官、及び研究者を中心を選抜された。訪問の主たる目的は、研究成果の実用化、ないしは生産化であり、重点分野は環境及び生物工学である。これらの二つに基づき、訪問先としては、JST・東京工業大

学・東京農工大学・早稲田大学先端生命科学研究所・清水建設技術研究所等へ案内し、また有明水再生センターを訪問し、実際の教育・研究現場において、どのような措置を探っているかを確認した。そして、31午後5時から、善隣協会5階で国際交流委員会メンバー及び関係者が訪日団を迎えて、日本滞在の感想等を聴かせてもらい、交流会を催した。
(表2写真参考)

(表2写真参考)

会員だより

◎計報

山口一郎氏（93歳）

平成30年8月26日逝去
謹んで哀悼の意を表します

同好会だより

八月開幕例会優勝 濱崎明氏

〈謡曲会〉

10月31日例会 実施予定曲目

良寛の五合庵

(表4上)

「かりん」の歌仲間です。

今回「越後の良寛」について、その短歌をはじめ、漢詩、俳句、書に至るまで深く関心を持たされ、五合庵に3人そろつて一緒に訪ねたのでした。

みんなの写真館

今年フフホト市内に登場した、名前はまだないそうだが、水蒸気散布車（表紙）

画面左手の車両がミサイルを発射した直後の煙、ではなくて暑さと乾燥を和らげるために、

今年から内モンゴル自治区の区都、フフホトに登場した水蒸気散布車。名前はまだないが、結構、評判がいいとのこと。

モンゴルといえば馬と草原が

シンボル：は昔の話。今は主な都会はご覧の通り。そこに内陸の高温と乾燥がかぶさるのだから、せっかくの水気もアツとう間に霧消する。（田畠光永）

パンダの託児所（表4下）

7月の中国四川省成都市にあるジャイアントパンダ繁殖研究基地のパンダ「託児所」の光景だ。

2016年に生息数は約200頭余りまで回復した結果、「絶滅危惧種」から「危急種」に分類された。

炎天下の長い行列を30分ほど待った成果は、このかわいいパンダの赤ちゃんを写真に収めたことだ。写真に写っているパンダの赤ちゃんは、身長約30センチで、昼寝の様子があまりに愛らしく、観光客の心をわしづかみにしていた。（妻 晋如）

2018年10月の行事予定

- 3日(水) 13:00 俳句会
兼題「豊の秋、職」及び当季雑詠
- 4日(木) 14:00 ○公開フォーラム
「復興映画を制作して～在日3世の想い」
尹美亜氏(映画監督、在日3世)
- 9日(火) 14:00 謡曲会(松木先生稽古日)
- 11日(木) 14:00 ○公開フォーラム
「中国の自動車産業と今後の車社会」
竹内健二氏(共同通信社経済部記者)
- 12日(金) 11:00 一石会囲碁例会
- 18日(木) 18:30 ◎公開アジア研究懇話会
「我が祖父・大平正芳の思い出」
渡邊満子氏(大平元総理の孫、メディアプロデューサー)
- 23日(火) 14:00 謡曲会(松木先生稽古日)
- 24日(水) 14:00 公開「善隣古海塾」
「古海顧問から見た満洲2」
塾長:古海建一氏(前当会会長、当会顧問)
- 26日(金) 16:00 公開「善隣中国塾」
テキスト:『中国の夢—電腦社会主义の可能性』
塾長:矢吹晋氏(横浜市立大学名誉教授、当会学術顧問)
- 30日(火) 13:00 謡曲会例会

10月の会議予定

1日(月) 14:00	環境委員会	10日(水) 14:00	財政委員会
4日(木) 16:00	講演委員会	18日(木) 14:00	理事会(第7回)
4日(木) 16:00	広報委員会	24日(水) 14:00	東北委員会
9日(火) 10:30	監事会	26日(金) 13:00	諮問会(第3回)
9日(火) 14:00	国際交流委員会		

※会員外一般聴講者の参加費は、◎印:1000円、○印:500円、無印:無料です。

※下線は通常日程に変更あり

みんなの 写真館

ISSN 0386-0345
二〇一八年（平成三十年）十月一日・毎月一日発行

「善隣」第四九六号（通巻七六二）



発行所
〒100-0004
一般社団法人
国際善隣協会
電話 03-3573-0515
東京都港区新橋一丁目五番
代表会

INTERNATIONAL GOOD NEIGHBORHOOD ASSOCIATION (IGNA)
<http://www.kokusaizenrin.com>